Panasonic®

取扱説明書

コンパクトステレオシステム

品番 SC-HC40

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（→ 47 ～ 49 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

困ったときは？

Q&A（よくあるご質問）	→ 43 ページ
こんな表示が出たら	→ 44 ～ 45 ページ
故障かな！？	→ 45 ～ 46 ページ

保証書別添付

もくじ

準 備

聴 く

音楽を楽しもう！

SD

CD

ラジオ

iPod/iPhone

iPod/iPhoneを高音質で楽しめる！

Bluetooth®

ハンズフリー

録 る

SD にお好みの音楽を録音！

SD

CD

ラジオ

iPod

「安全上のご注意」を必ずお読みください（→47 ～ 49 ページ）

編　集

録音した曲を集めてお好みの曲順に！
（プレイリスト）

A曲 B曲 C曲 D曲

B曲 A曲 D曲

SD

タイマー

それぞれ最大 3 つまで設定できます。

使いこなす

必要なとき

安全上のご注意
準備
聴く
iPod/iPhone
Bluetooth®
ハンズフリー
録る
編集
タイマー
使いこなす
必要なとき

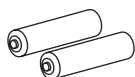
付属品

付属品を確認してください

□ FM 簡易型アンテナ（1 本）
【RSAX0002】

□ AM ループアンテナ（1 本）
【N1DYYYY00010】

□ 電源コード（1 本）
【K2CA2CA00024】

□ リモコン（1 コ）
【N2QAYB000538】

□ リモコン用乾電池
（単 3 形、2 本）

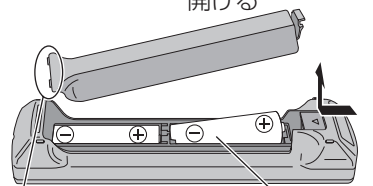
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- カッコ【　】内は、2010 年 4 月現在の品番です。品番は変更されることがあります。

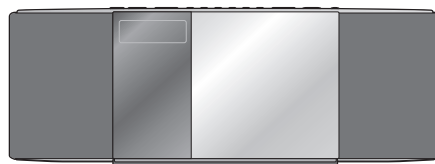
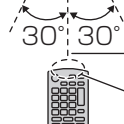
付属品（➔上記）と別売品（➔ 53 ページ）は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。くわしくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
Pana Sense

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

リモコンの準備

■乾電池の入れかた

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

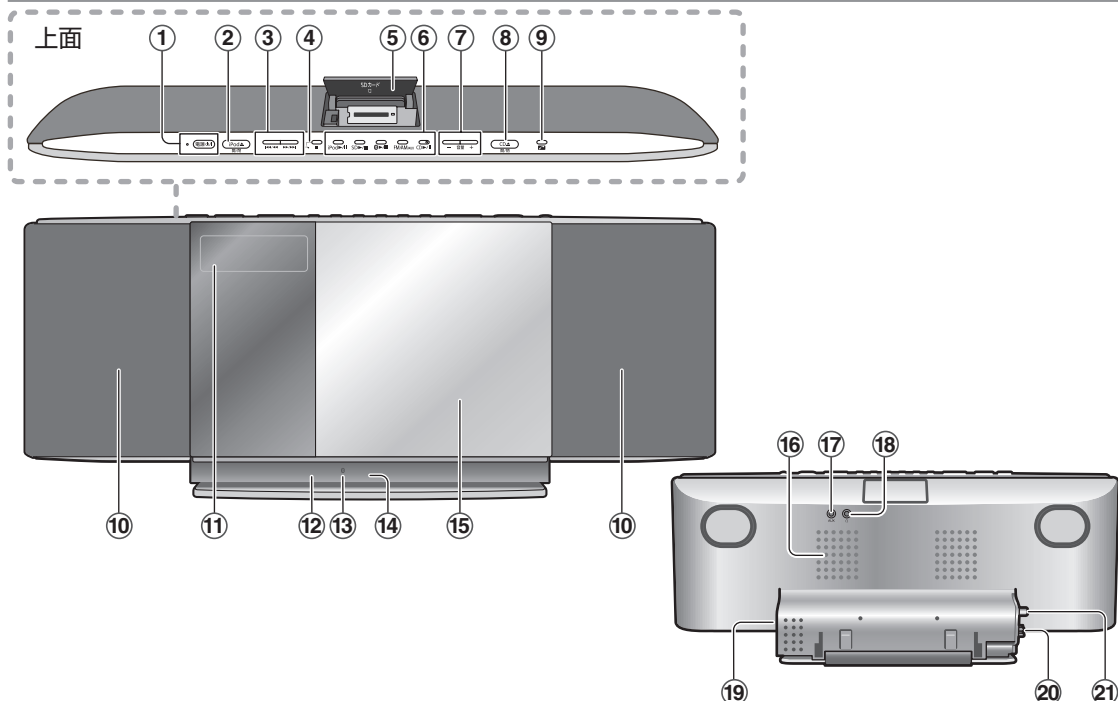
■リモコンの使用範囲

- 距離と角度はおよその数値です。

■使用上のお願い

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受信部と送信部のほこりに注意する。

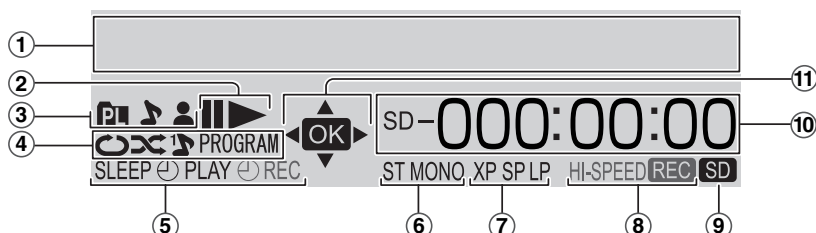
各部のはたらき

本体

上面

	なまえやはたらき	参照ページ
①	電源ランプ（赤色） 点灯：電源入時 消灯：電源切（スタンバイ）時	—
	［電源 ⏻/I］電源を入 / 切する	—
②	［iPod ▲開 / 閉］iPod/iPhone 側の電動スライドドアを開閉する	6
③	［⏮/◀◀］［▶▶/⏭］ スキップ / サーチする／ ラジオの周波数やチャンネルを選ぶ／ 選択画面でチェックを付ける／ メニューや選択画面で選ぶ	12, 14, 17, 21, 23, 24
④	［■/ 📞］ 停止する／電話を切る	12, 14, 21, 23, 24, 25
⑤	SD ふた	14
	SD ランプ（赤色） 点灯：SD カードが入っている時 点滅：SD カードに書き込み中	14
	SD カード挿入部	14
⑥	［iPod ▶/❚❚］［SD ▶/❚❚］［Bluetooth ▶/❚❚］ ［CD ▶/❚❚］ iPod/SD/BLUETOOTH/CD に切り換えて再生する／ 一時停止する	12, 14, 21 ～ 24
	［FM/AM/AUX］FM/AM/AUX に切り換える	16, 19
⑦	［− 音量 +］音量を調節する • 0（最小）～ 50（最大）	—

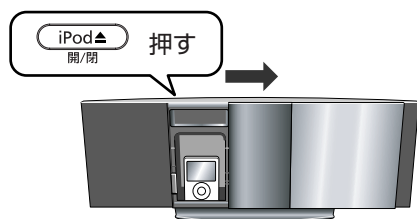
	なまえやはたらき	参照ページ
⑧	［CD ▲開 / 閉］CD 側の電動スライドドアを開閉する	6
⑨	［📞］電話に出る	25
⑩	スピーカー部	—
⑪	表示部	6
⑫	通話マイク	25
⑬	Bluetooth® ランプ（青色） 点灯：Bluetooth® 接続中 点滅（早い）：電話に呼び出し中 点滅（遅い）：通話中	22, 25
⑭	リモコン受信部	4
⑮	電動スライドドア	6
⑯	通気孔	49
⑰	AUX（外部入力）端子	18
⑱	🎧（ヘッドホン）端子	40
⑲	AC 入力端子	8
⑳	AM アンテナ端子	8
㉑	FM アンテナ端子	8, 18

各部のはたらき（つづき）

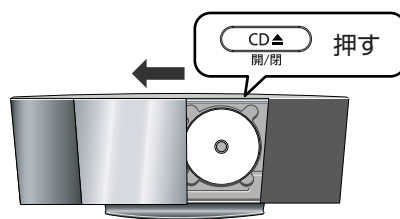
表示部

	なまえやはたらき	参照ページ
①	セレクター／各操作の画面／曲の情報／時計表示　など	—
②	▶：再生中　❚❚：一時停止中	—
③	プレイリストや SD の情報 PL：　プレイリスト名 ♪：　曲名 👤：　アーティスト名	—
④	再生の種類 🔁：　リピート再生 🔀：　ランダム再生 1♪：　1 曲再生 PROGRAM：プログラム再生	12, 13, 15, 16
⑤	SLEEP：　おやすみタイマー ◷ PLAY：おめざめタイマー ◷ REC：　留守録タイマー	36, 38

	なまえやはたらき	参照ページ
⑥	ラジオ受信状態 ST：　FM ステレオ放送受信中 MONO：　FM モノラル受信中	17
⑦	録音モード XP：高音質　SP：標準　LP：長時間	26
⑧	録音表示（点滅：一時停止中） HI-SPEED REC：　高速録音中 REC：　録音中	21, 24, 28 ～ 30
⑨	SD カードの状態表示 表示：SD カードが入っている時 点滅：SD カードに書き込み中	14, 27, 30
⑩	再生経過時間／再生残り時間／SD の録音残り時間	—
⑪	リモコン操作ガイド	—

電動スライドドアの開閉について

■iPod/iPhone 側を開けるには

閉めるには、もう一度本体の［iPod ⏏ 開 / 閉］を押します。

- iPod/iPhone を接続するには「iPod/iPhone を本機に接続する」（➜ 20 ページ）

■CD 側を開けるには

閉めるには、もう一度本体の［CD ⏏ 開 / 閉］を押します。

- CD を入れるには「CD を聴く」手順 ❷（➜ 12 ページ）

お願い

- 電動スライドドアは手で開閉しないでください。無理に開閉すると故障の原因になります。
- 手をはさむおそれがありますので、電動スライドドア付近に手を置かないでください。

お知らせ

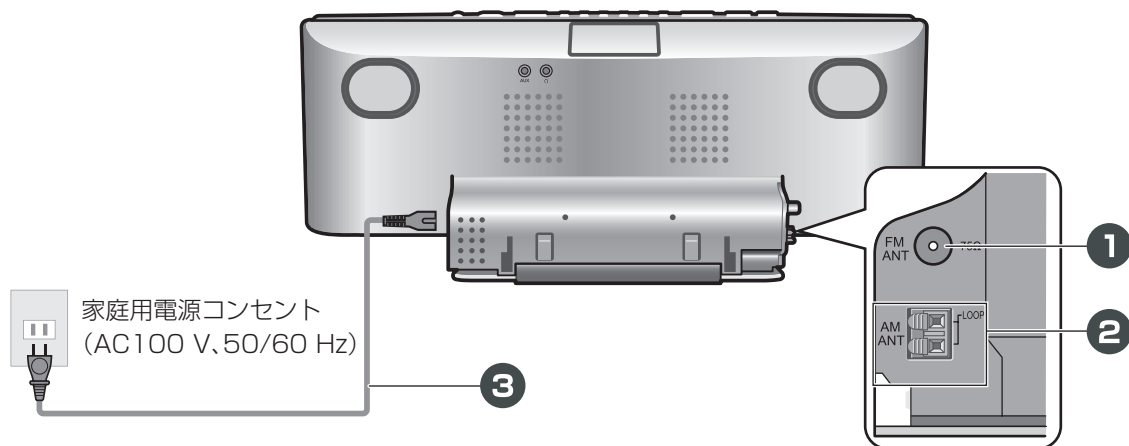
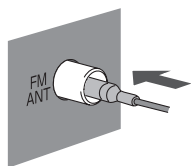
- リモコンのボタンでも操作できます。
- iPod レバーがロック（➜ 20 ページ）されていないと、「Dock Unlocked」が表示され、電動スライドドアは閉まりません。
- iPod/iPhone 側（または CD 側）の電動スライドドアが開いている状態から、直接 CD 側（または iPod/iPhone 側）の電動スライドドアを開けることはできません。
- iPod/iPhone 側の電動スライドドアは、開いている状態で電源を切っても自動的には閉まりません。

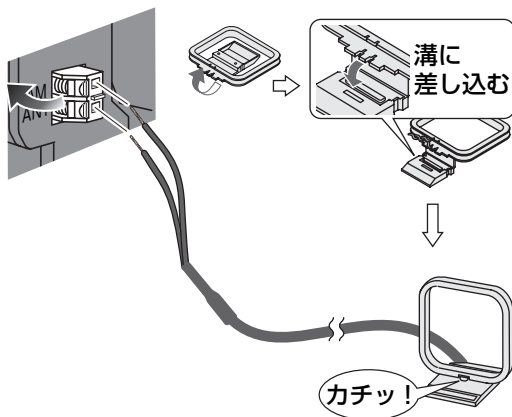
リモコン

	なまえやはたらき	参照ページ
①	［電源］電源を入 / 切する	—
②	［文字］文字の種類を切り換える	34
③	「数字ボタン」「文字入力ボタン」 番号を選ぶ／文字や数字を入力する	13, 15, 17, 34
④	［消去］プログラム曲や文字を消去する	13, 16, 35
⑤	［プログラム］プログラム設定を入 / 切する	13, 15
⑥	［リピート］リピート再生する	13, 16
⑦	［SD ►/❚❚］［CD ►/❚❚］［Ⓑ ►/❚❚］［iPod ►/❚❚］ SD/CD/BLUETOOTH/iPod に切り換えて再生する／ 一時停止する	12, 14, 21 ～ 24
	［ラジオ］FM/AM に切り換える	16
	［AUX］AUX に切り換える	19
⑧	［■/ ☎］ 停止する／電話を切る	12, 14, 21, 23 ～ 25
⑨	［リ . マスター］リ . マスターを入 / 切する	39
⑩	［iPod MENU］iPod の選曲メニュー画面に入る	21
⑪	［プリセット EQ］音質効果を設定する	39
⑫	［▲］［▼］［❙◄◄］［►►❙］［決定］ スキップ / サーチする／ ラジオの周波数やチャンネルを選ぶ／ 選択画面でチェックを付ける／ メニューや設定画面で選んで決定する	12, 14, 17, 21, 23, 24
⑬	［表示切換 / −ディマー］ 表示を切り換える／表示部の明るさを変える	12, 14, 17, 23, 40
⑭	［SD タイトルイン］タイトルを入力する	34
⑮	［サラウンド］サラウンド効果を入 / 切する	39
⑯	［設定］システム設定画面を表示する	40, 41
⑰	［iPod ▲］iPod/iPhone 側の電動スライドドアを開閉する	6, 20
⑱	［CD ▲］CD 側の電動スライドドアを開閉する	6, 12
⑲	［時計 / タイマー］ 時計を合わせる / 表示する／ おめざめタイマー / 留守録タイマーを設定する	36, 37
⑳	［スリープ］おやすみタイマーを設定する	36
㉑	［+ 音量 −］音量を調節する • 0（最小）～ 50（最大）	—
㉒	［消音］一時的に消音する	40
㉓	［再生モード］ 再生モードを選ぶ／ ラジオのマニュアル / プリセットを切り換える／ 入力レベルを変更する	12, 15, 17, 19, 24
㉔	［D.BASS］D.BASS 効果を入 / 切する	39
㉕	［BASS/TREBLE］低音 / 高音を設定する	39
㉖	［戻る］メニューや設定画面で前の画面に戻る	—
㉗	［機能選択］機能選択画面を表示する	16, 17, 23, 24, 31 ～ 33
㉘	［☎］電話に出る	25
㉙	［録音モード］録音モードや録音タイプを設定する	28
㉚	［CD 高速録音］［SD 録音 ●/❚❚］SD に録音する	21, 24, 28 ～ 30

■本書の説明について

- リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 表示部の画面イラストは説明のための例です。また、画面の一部を省略している場合があります。

接続のしかた / 設置

❶ FM 簡易型アンテナを接続する

実際に放送を受信し（→ 17 ページ）、雑音の少ない壁や柱の位置に、テープで止めます。

❷ AM ループアンテナを接続する

実際に放送を受信し（→ 17 ページ）、雑音の少ない位置に置きます。

❸ 電源コードを接続する

電源コードは最後に接続します。

■電源コードを抜くときは

① ［電源］を押して電源を切る
②「Goodbye!」の表示が消えてから電源コードを抜く

■よりよい音響効果を得るために

音は置きかたによって変わります。
例えば、床の上や部屋の隅に置くと低音が増します。
下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- しっかりした、平らで安定した場所に設置する
- スピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする
- 左右は壁から離す
- 堅い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛けて反射を少なくする
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する

■本機を移動するときは

① CD/SD カード /iPod/iPhone を取り出す
② ［電源］を押して電源を切る
③「Goodbye!」の表示が消えてから電源プラグを抜く

お願い

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも音がひずんだときは、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。）

お知らせ

- スピーカーネットは取り外しができません。

CD について

のマークが入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。
ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。

また、違法にコピーしたディスクや規格外ディスクについては録音や再生を保証していません。
DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）の再生は保証しておりません。

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

• 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
• レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
• 紙やシール、ラベルを貼らない
• 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
• シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

● **CD-R と CD-RW の再生について**

CD-DA フォーマットで記録された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。録音終了時にファイナライズ※が必要です。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

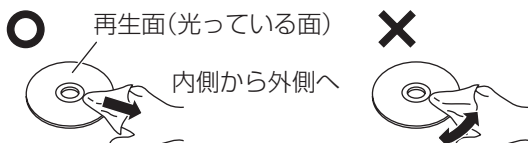
※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■ 取扱上のお願い

● **持ちかた**

再生面(光っている面)には触れない

● **汚れたときは**

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

● **露がついたら**

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

● **CD を良い音でお楽しみいただくために**

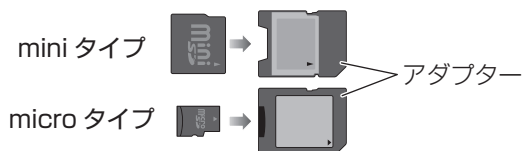
別売の専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）

SD について

■ 本機で使用できるSDカード(2010年4月現在)

本書では下記のメモリーカードをまとめて「SD カード」「SD」などと表記しています。
最新情報は
http://panasonic.jp/support/audio/
で確認してください。

カードの種類（当社製を推奨）	
• SD メモリーカード • miniSD カード※1 • microSD カード※1 (8 MB ～ 2 GB)	SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされたもの
• SDHC メモリーカード • microSDHC カード※1 (4 GB ～ 32 GB)	SD 規格に準拠した FAT32 形式でフォーマットされたもの
• SDXC メモリーカード • microSDXC カード※1 (48 GB、64 GB)	SD 規格に準拠した exFAT 形式でフォーマットされたもの

※1 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してください。

• マルチメディアカード (MMC) は使用できません。
• 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
• 本機は、SD オーディオ規格に準拠した SD/SDHC/SDXC メモリーカードの記録と再生に対応していますが、すべてのSD/SDHC/SDXCオーディオ対応機器との動作互換を保証するものではありません。

動作確認済み機器について、くわしくは下記ホームページにてご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

• SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。（SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます。）
非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。
SDXC メモリーカード非対応のパソコンや機器でカードを使用すると、カードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。大切なデータが消去され元に戻すことはできませんので、フォーマットしないでください。
SDXC メモリーカードをご使用の際は、下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/

■ 録音、編集について

SD カードへの録音は、高度な著作権保護技術に対応した「SD オーディオフォーマット※2」を採用しています。

※2 SD アソシエーションにて制定された SD メモリーカードのオーディオ規格です。

● 音楽の著作権保護のために

著作権保護と音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するための暗号技術を利用した SDMI（セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ）に対応しています。このため、ご利用いただくにあたり、次の制限があります。

• 本機は音楽データを暗号化して記録します。暗号化された音楽データを別の機器に複写して使用することはできません。
• 暗号化して記録された音楽データのバックアップ / リストア（復元）には対応していません。
• SD カード内のデータを移動するには、マイグレート対応のソフトウェア「SD-Jukebox」（別売）をご使用ください。
• コピー制限情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

● デジタル録音の制限について

CD から SD へのデジタル録音には SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
本機で CD から SD へ録音すると信号劣化の少ないクリアなデジタル録音が行えます。著作権保護のため、この制限がある CD から SD へのデジタル録音はできません。なお、アナログ録音にはこのような制限はありません。

● SD カード 1 枚への録音は、収録時間内で最大 999 曲までです

実際に録音できる時間が少なくなる場合もあります。

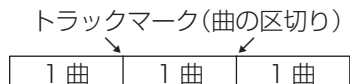
● **録音、編集時のお願い**

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、本機を振動させたり、SD カードを取り出したり、電源コードを抜いたりしないでください。動作が停止します。

● **トラックマーク**

録音部分に記録される区切りのことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。

トラックマーク（曲の区切り）

1 曲	1 曲	1 曲

トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。（曲と曲をつないでトラックマークを消すことはできません。）

■ **再生について**

「SD オーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/WMA※3/MP3）のみ再生できます。（上記形式の音楽データでも正しく再生されない場合があります。）

※3 Windows Media Audio 9（WMA9）対応
ただし、Professional、Lossless、Voice 及びマルチプルビットレート（一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）には対応していません。

■ **初期化（CARD FORMAT）について**

• 記録前に本機で初期化（CARD FORMAT）することをおすすめします。（➔ 33 ページ）
• 他の機器でフォーマットしたカードは使用できないことがあります。（本機で初期化した場合、本機以外の機器で使えないことがあります。）

■ **大切なデータを保護するために**

• 書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに録音 / 編集するときは解除してください。

• 操作の途中に SD カードを抜いたり、電源コードを抜き差ししたりしないでください。データが破壊されることがあります。

■ **使用上のお願い**

• 保管時は、必ずケースに収納する
• 分解や改造をしない
• 貼られているラベルは、はがさない
• 新たにラベルやシールを貼らない
• うら面の金属端子部を手や金属で触らない

SD カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

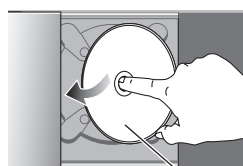
本機やパソコンの機能による「初期化」（CARD FORMAT）や「削除」（DELETE）では、ファイル管理情報が変更されるだけで、SD カード内のデータは完全には消去されません。
廃棄 / 譲渡の際は、SD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って SD カード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
SD カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

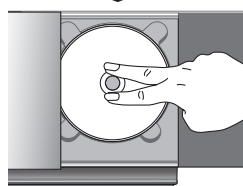
CD を聴く

■本機で再生できるディスク

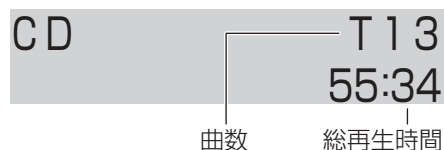
市販の音楽 CD（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（WMA/MP3）	× 再生できません

1 **[電源] を押して電源を入れる**

2 ① **[CD ⏏] を押して電動スライドドアを開け、CD を入れる**

CD の左側を電動スライドドアの下にすべりこませるようにして入れる

ラベル面を上にする

カチッと音がするまで CD 中央部を押す

② **[CD ⏏] をもう一度押して電動スライドドアを閉める**

例）セレクターが CD のとき

3 **[CD ▶/❚❚] を押す**

再生が始まります。

■ リモコンでの操作

停止する	[■]（停止）を押す
一時停止する	[CD ▶/❚❚] を押す • 再開するにはもう一度押す
曲を飛ばす（スキップ）	[⏮] [⏭]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	再生中 / 一時停止中に [⏮] [⏭]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を聴きたい位置まで押したままにする
音量を調節する	[＋ 音量 －] を押す
再生残り時間を見る	[表示切換 / ーディマー] を押す 押すたびに内容が切り換わります。（再生中や一時停止中など状態によって異なります。）

お知らせ

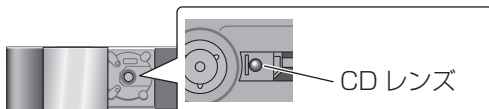
• すでに CD が入っている場合、電源切時に [CD ▶/❚❚] を押すと、電源が入り、CD 再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

CD を取り出すには

[CD ⏏] を押す

• 閉めるにはもう一度押す

お願い

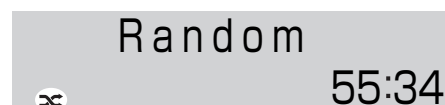
• CD が電動スライドドアに当たらないように取り出してください。
• 電動スライドドアを開いたまま長時間放置しないでください。CD レンズの汚れの原因になります。
• CD レンズに触れないでください。

再生範囲を変える／順不同で聴く

再生モード

• CD を入れておく

1 **[再生モード] を押す**

押すたびに

1 Track ⟶ Random ⟶ (表示なし：通常の再生) ⟶ 1 Track

Random
55:34

1 Track ♪：	1 曲を再生する
Random ⤮：	CD をランダムプレイする

2 [CD ▶/❚❚] を押す

お知らせ

- ランダムプレイ中は、一度再生した曲へスキップできません。

好きな曲から聴く ダイレクトプレイ

- CD を入れておく

数字ボタンを押して曲を選ぶ

選んだ曲から順に再生が始まります。

■ 10 以上の曲番の選びかた
例：12
[≧10 記号] → [1 ア] → [2 カ ABC]

お知らせ

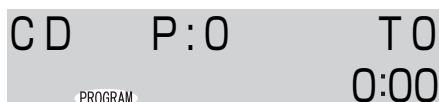
- ランダム / プログラム設定中は、ダイレクトプレイできません。

曲を選んで聴く プログラムプレイ

好みの曲を選んで、好きな順に聴くことができます。
最大 24 曲までプログラムできます。

- CD を入れておく

1 停止中に
[プログラム] を押す

CD P:0 T0
PROGRAM 0:00

2 数字ボタンを押して曲を選ぶ

■ 10 以上の曲番の選びかた
例：12
[≧10 記号] → [1 ア] → [2 カ ABC]

● 続けて選ぶときは、この操作をくり返してください。

プログラムされた曲数　曲番　総演奏時間

3 [CD ▶/❚❚] を押す

プログラム順に再生が始まります。

■ **停止するには**：再生中に [■]（停止）を押す（プログラム内容は保持されます。）

■ **プログラム内容を確認するには**：プログラムプレイの停止中に [⏮] [⏭]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を押す

■ **プログラム曲を追加するには**：プログラムプレイの停止中に手順 2 を行う

■ **通常の再生に戻すには**：プログラムプレイの停止中に [プログラム] を押して "PROGRAM" を消す（プログラム内容は保持されます。）

- プログラムプレイに戻るには、[プログラム]→[CD ▶/❚❚] を押す

■ **プログラムを 1 曲ずつ取り消すには**：プログラムプレイの停止中に [消去] を押す（押すたびに最後の曲から取り消されます。）

■ **プログラムをすべて取り消すには**：
① プログラムプレイの停止中に [■]（停止）を押す
② [▲] [▼] で「YES」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 電源を切ったり、セレクターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
- CD 側の電動スライドドアを開けると、プログラム内容は取り消されます。
- プログラム曲を選んで取り消すことはできません。

くり返し聴く リピートプレイ

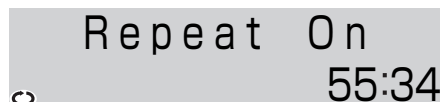
リピートプレイは、他の CD 再生と組み合わせて設定できます。

- CD を入れておく

1 [リピート] を押して「Repeat On」を選ぶ

押すたびに
Repeat On ⇄ Repeat Off

Repeat On
55:34

2 [CD ▶/❚❚] を押す

■ **解除するには**：[リピート] を押して「Repeat Off」を選ぶ

SD を聴く

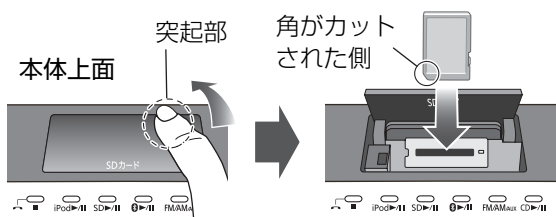
■再生できるデータ形式
「SD オーディオフォーマット」で録音された音楽データ(AAC/WMA/MP3)のみ再生できます。(静止画および動画は再生できません。)

1 [電源] を押して電源を入れる

2 録音済みの SD カードを入れる

突起部を押して
SD ふたを開ける

SD カードを奥まで
まっすぐ差し込む

本体上面
突起部
角がカット
された側

SD ランプが点灯し、"SD" が表示されます。
例) セレクターが SD のとき

曲数　総再生時間

3 [SD ▶/❚❚] を押す

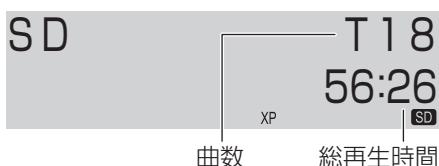
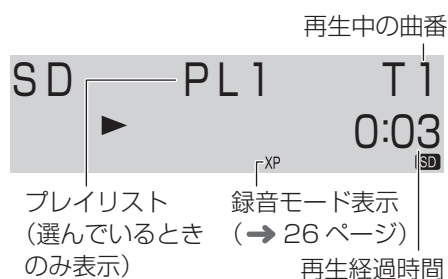
再生が始まります。

再生中の曲番

SD　PL1　T1
▶　0:03
XP　SD

プレイリスト
(選んでいるとき
のみ表示)

録音モード表示
(➔ 26 ページ)

再生経過時間

■ リモコンでの操作

停止する	[■] (停止) を押す
一時停止する	[SD ▶/❚❚] を押す • 再開するにはもう一度押す
曲を飛ばす(スキップ)	[⏮] [⏭] (本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]) を押す
プレイリストを飛ばす(プレイリストスキップ)	[▲] [▼] を押す プレイリストを選ぶと、プレイリスト内のみの再生になります。
早送り / 早戻しする (サーチ)	再生中 / 一時停止中に [⏮] [⏭] (本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]) を聴きたい位置まで押したままにする
音量を調節する	[+ 音量 −] を押す
再生残り時間やタイトルなどを見る※	[表示切換 / ーディマー] を押す 押すたびに内容が切り換わります。(停止中や再生中など状態によって異なります。)

※ 他の機器で記録した SD を本機で再生する場合、プレイリストの種類を表す次のような文字がプレイリスト名の先頭に表示されることがあります。
「ABM」→アルバム
「ART」→アーティスト
「IM1」～「IM8」→印象選曲
「RRT」→新曲
「BST」→マイベスト

お知らせ

• すでに SD カードが入っている場合、電源切時に [SD ▶/❚❚] を押すと、電源が入り、SD 再生が始まります。(ワンタッチプレイ)

SD カードを取り出すには

停止中に SD カード中央を押して、出てきた SD カードをまっすぐ引き抜く

お願い

• 「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示中や、SD ランプと "SD" の点滅中は、絶対に SD カードを取り出さないでください。SD カードが使えなくなることがあります。

再生範囲を変える／順不同で聴く 再生モード

• SD カードを入れておく

1 **停止中に**
［再生モード］を押す

押すたびに

1 Track ――→ **Random**
└（表示なし：通常の再生）←┘

Random
56:26
XP SD

1 Track :	1 曲を再生する
Random :	プレイリスト内の全曲をランダムプレイする

2 **［SD ▶/❚❚］を押す**

お知らせ

• プレイリストについては 30 ページをご覧ください。
• ランダムプレイ中は、一度再生した曲へスキップできません。
• SD の再生モードの切り換えは、再生中はできません。

好きな曲から聴く ダイレクトプレイ

• SD カードを入れておく

トラックから選ぶ

数字ボタンを押して曲を選ぶ

選んだ曲から順に再生が始まります。

■ 10 以上の曲番の選びかた
● 10 以上（例：12）
［≧10］→［1］→［2］
● 100 以上（例：235）
［≧10］→［≧10］→［2］→［3］→［5］

プレイリストから選ぶ

• プレイリストについては 30 ページをご覧ください。

1 **［≧ 10］を数回押して「PL –」または「PL – –」を表示させる**

押すたびにカーソルの位置が動きます。
例）

SD PL– –

2 **① 数字ボタンを押してプレイリストを選ぶ**

SD PL13 T– –
［1］→［3］を押す

② 数字ボタンを押して曲を選ぶ

SD PL13 T11
［1］→［1］を押す

選んだ曲から順に再生が始まります。

お知らせ

• ランダム / プログラム設定中は、ダイレクトプレイできません。

曲を選んで聴く プログラムプレイ

好みの曲を選んで、好きな順に聴くことができます。
最大 24 曲までプログラムできます。

• SD カードを入れておく

1 **停止中に**
［プログラム］を押す

2 **数字ボタンを押して曲を選ぶ**

➜ 曲を選ぶには、左記「好きな曲から聴く」
● 続けて選ぶときは、この操作をくり返してください。

プログラムされた曲数　曲番　総演奏時間

3 **［SD ▶/❚❚］を押す**

プログラム順に再生が始まります。

SD を聴く（つづき）

■ **停止するには**：再生中に［■］（停止）を押す（プログラム内容は保持されます。）

■ **プログラム内容を確認するには**：プログラムプレイの停止中に［⏮］［⏭］（本体では［⏮/◀◀］［▶▶/⏭］）を押す

■ **プログラム曲を追加するには**：プログラムプレイの停止中に 15 ページ手順❷を行う

■ **通常の再生に戻すには**：プログラムプレイの停止中に［プログラム］を押して“PROGRAM”を消す（プログラム内容は保持されます。）

• プログラムプレイに戻るには、［プログラム］→［SD ▶/❚❚］を押す

■ **プログラムを 1 曲ずつ取り消すには**：プログラムプレイの停止中に［消去］を押す（押すたびに最後の曲から取り消されます。）

■ **プログラムをすべて取り消すには**：

① プログラムプレイの停止中に［■］（停止）を押す

② ［▲］［▼］で「YES」を選び、［決定］を押す

お知らせ

• 電源を切ったり、セレクターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
• SD カードを取り出すと、プログラム内容は取り消されます。
• プログラム曲を選んで取り消すことはできません。

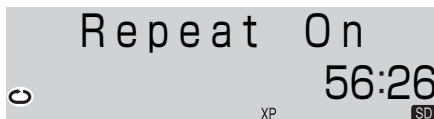
くり返し聴く リピートプレイ

リピートプレイは、他の SD 再生と組み合わせて設定できます。

• SD カードを入れておく

❶ ［リピート］を押して「Repeat On」を選ぶ

押すたびに

Repeat On ⇄ Repeat Off

Repeat On
56:26
XP SD

❷ ［SD ▶/❚❚］を押す

■ **解除するには**：［リピート］を押して「Repeat Off」を選ぶ

ラジオを聴く

• FM 簡易型アンテナ /AM ループアンテナを接続しておいてください。（➜ 8 ページ）

共通操作

■ **設定中に前の画面に戻る**：［戻る］を押す

■ **途中で設定を止める**：［■］（停止）を押す

放送局を記憶させて聴く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聴くことができます。FM/AM 各 15 局まで記憶することができます。

お住まいの地域から局を記憶させる

❶ ［ラジオ］（本体では［FM/AM/AUX］）を押して「FM」または「AM」を選ぶ

押すたびに

FM ⇄ **AM**

❷ ［機能選択］を押す

❸ ① ［▲］［▼］で「AREA」を選び、［決定］を押す

② ［▲］［▼］で地方を選び、［決定］を押す

例）

③ ［▲］［▼］で地域を選び、［決定］を押す

その地域で受信できる主な FM/AM の放送局がチャンネルに記憶されます。

お知らせ

• 電源切時に［ラジオ］を押すと、電源が入り、ラジオを受信します。

好みの局を記憶させる

「お住まいの地域から局を記憶させる」で記憶させたチャンネルに、上書きすることもできます。
FM のモノラル受信 (→ 右記) での登録も可能です。

- ラジオ受信中に［再生モード］を押して「Manual」を選んでおく
  押すたびに **Manual** ⇄ Preset

1 **[|◀◀]［▶▶|］（本体では［|◀◀/◀◀］［▶▶/▶▶|］）を押して登録したい周波数に合わせる**

2 **［機能選択］を押す**

3 **① ［▲］［▼］で「SET PRESET」を選び、［決定］を押す**
② ［▲］［▼］でチャンネルを選び、［決定］を押す

FM1 76.5MHz

選んだチャンネルに受信中の放送局が記憶されます。

■ **記憶させたチャンネルを消去するには：**
① 上記手順 **3** -①で［▲］［▼］を押して「ERASE PRESET」を選び、［決定］を押す
② ［▲］［▼］で消去したいチャンネルを選び、［決定］を押す

記憶させた放送局を聴く（プリセットチューニング）

1 **ラジオ受信中に**
［再生モード］を押して「Preset」を選ぶ
押すたびに
Preset ⇄ Manual

2 **[|◀◀]［▶▶|］（本体では［|◀◀/◀◀］［▶▶/▶▶|］）を押してチャンネルを選ぶ**
登録のないチャンネルはスキップされます。
選んだチャンネルの放送局を受信します。

FM1 76.5MHz
ST XP

チャンネル
FM ステレオ放送を受信すると表示

● 数字ボタンでもチャンネルを選べます。

■ 10 以上のチャンネルの選びかた
例：12
≧10 (記号) → 1 → 2

■ **放送局名を見るには：**［表示切換 / ーディマー］を押す（押すたびに内容が切り換わります。）
- 「お住まいの地域から局を記憶させる」で記憶した放送局名のみ表示されます。

周波数を合わせて聴く マニュアルチューニング

1 **［ラジオ］（本体では［FM/AM/AUX］）を押して「FM」または「AM」を選ぶ**
押すたびに
FM ⇄ **AM**

2 **［再生モード］を押して「Manual」を選ぶ**
押すたびに
Manual ⇄ Preset

3 **[|◀◀]［▶▶|］（本体では［|◀◀/◀◀］［▶▶/▶▶|］）を押して周波数を合わせる**

■ **自動選局するには（オートチューニング）：**周波数が動き始めるまで［|◀◀］［▶▶|］（本体では［|◀◀/◀◀］［▶▶/▶▶|］）を押したままにする（放送を受信すると止まります。）
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返す。
- 周囲に妨害電波があると、放送を受信せずに周波数が止まることがあります。

FM ステレオ放送で雑音が多いときは（モノラル受信）

① FM 受信中に［機能選択］を押す
② ［▲］［▼］で「FM MODE」を選び、［決定］を押す
③ ［▲］［▼］で「MONO」を選び、［決定］を押す（“MONO”が表示されます。）
- ステレオに戻すときは、「AUTO」を選ぶ（通常は「AUTO」にすることをおすすめします。）
- 受信している周波数を変えると自動的にステレオ放送に戻ります。

AM 放送で雑音が多いときは（ビートプルーフ機能）

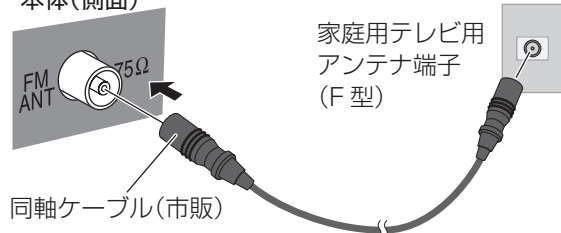
① AM 受信中に［機能選択］を押す
② ［▲］［▼］で「AM BEAT-PROOF」を選び、［決定］を押す
③ ［▲］［▼］で「BP1」から「BP4」のうち、雑音の少ないものを選び、［決定］を押す
- 周波数を切り換えると、自動的に「BP1」に戻ります。

ラジオを聴く
（つづき）

ラジオがうまく受信できないときは

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところやノイズが入るときには、屋外アンテナなどの設置をおすすめします。

FM（テレビアンテナ端子の利用）

付属の FM 簡易型アンテナを取り外します。
同軸ケーブルで、本機の FM アンテナ端子とテレビ用アンテナ端子（F 型）を接続します。
上記アンテナ端子が地上デジタル放送専用の場合は効果がない場合があります。

上記の接続をしてもうまく受信できない場合、FM 専用アンテナ（市販）やブースター（増幅器、市販）の使用が必要になることがあります。くわしくは販売店にご相談ください。

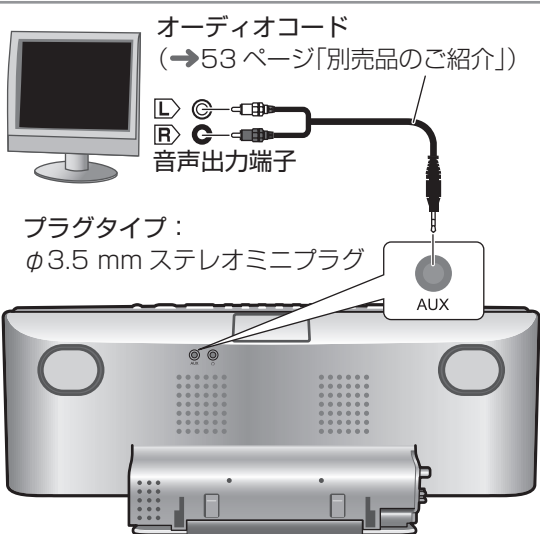
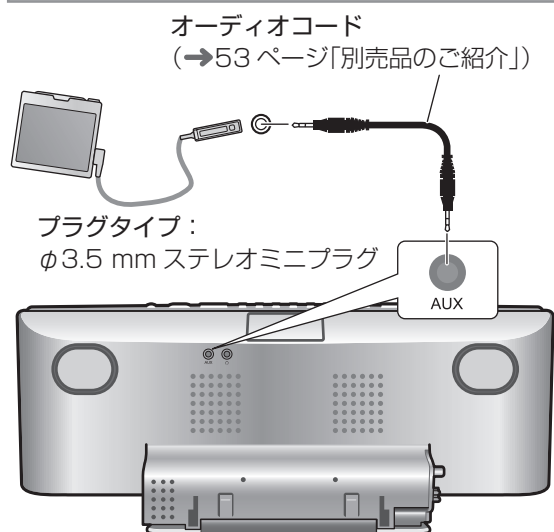
テレビなど外部機器の音声を聴く

外部機器を接続する

- ポータブル機器
- テレビ
- ビデオデッキ
- 有線放送
- BS/CS チューナー

など

- 電源を切った状態で接続してください。
- 接続機器の取扱説明書もご覧ください。

音声出力端子のある機器

ポータブル MD などの機器

外部機器の音声を本機で聴く

① テレビ、有線放送、BS/CS チューナーの場合は、好みの放送局を受信しておく
② ポータブル機器の場合、ポータブル機器側で音量を調節しておく
③ 本機の電源を入れておく

1 [AUX] を押してセレクターを AUX に切り換える
(本体では [FM/AM/AUX] を数回押す)

AUX　　High
入力レベル(➔ 下記)

2 外部機器を操作して再生する

■ 音量に過不足を感じるときは(入力レベルの変更):[再生モード] を押す

押すたびに

Level High ⇄ **Level Normal**

Level High:	音量が小さいとき
Level Normal:	音量が大きいとき

お知らせ

• スピーカーから出る音がひずんだり、ノイズが発生する場合は「Level Normal」に切り換えると改善する場合があります。

iPod/iPhone の音楽を聴く / 録る

対応している iPod/iPhone を接続すると、本機のボタン操作で iPod/iPhone の充電 / 再生 / 録音ができます。

• iPod/iPhone に付属されている説明書などもお読みください。

■ 本機で使用できる iPhone/iPod
(2010 年 4 月現在)

名前	容量
iPhone 3GS	16 GB, 32 GB
iPhone 3G	8 GB, 16 GB

名前	容量
iPod nano 第 5 世代(ビデオカメラ)	8 GB, 16 GB
iPod touch 第 2 世代	8 GB, 16 GB, 32 GB, 64 GB
iPod classic	120 GB, 160 GB (2009)
iPod nano 第 4 世代 (ビデオ)	8 GB, 16 GB
iPod classic	160 GB (2007)
iPod touch 第 1 世代	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPod nano 第 3 世代 (ビデオ)	4 GB, 8 GB
iPod classic	80 GB
iPod nano 第 2 世代(アルミニウム)	2 GB, 4 GB, 8 GB
iPod 第 5 世代 (ビデオ)	60 GB, 80 GB
iPod 第 5 世代 (ビデオ)	30 GB
iPod nano 第 1 世代	1 GB, 2 GB, 4 GB
iPod 第 4 世代(カラーディスプレイ)	40 GB, 60 GB
iPod 第 4 世代(カラーディスプレイ)	20 GB, 30 GB
iPod 第 4 世代	40 GB
iPod 第 4 世代	20 GB
iPod mini	4 GB, 6 GB

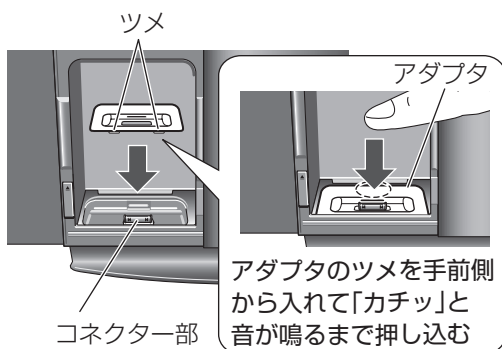
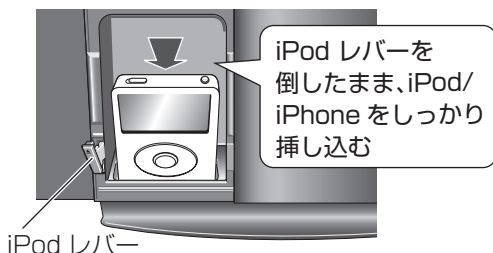
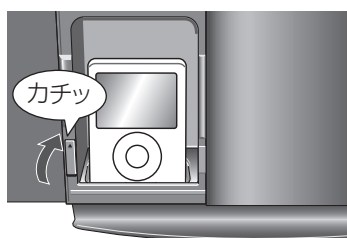
• 本機で iPod/iPhone に録音 / 記録することはできません。
• ご使用の iPod/iPhone またはそのバージョンにより、通常と異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な音楽再生の利用には支障ありません。できるだけ最新のバージョンをご使用ください。
• くわしくは、下記サポートページで確認してください。
http://panasonic.jp/support/audio/mini/connect/sc_hc40_ipod.html

iPod/iPhone の音楽を聴く / 録る（つづき）

iPod/iPhone を本機に接続する

- 接続前に iPod/iPhone の電源を切った状態にしてください。
- iPod/iPhone ケースなどを付けている場合は取り外してください。

1 ［iPod ▲］を押して電動スライドドアを開ける

2 iPod/iPhone 専用のアダプタを取り付ける

3 ① iPod レバーの［▲］を押して、iPod レバーを倒す
② iPod/iPhone を接続する

4 iPod レバーを押してロックする

5 ［iPod ▲］を押して電動スライドドアを閉める

iPod/iPhone を取り外すには

① 再生 / 録音を停止して、電動スライドドアを開ける
② iPod レバーを倒し、iPod/iPhone を取り出す
③ iPod レバーを押して戻したあと、電動スライドドアを閉める

お願い

- 正しく接続するために、iPod/iPhone 専用のアダプタを必ず取り付けてください。
- iPod/iPhone の接続や取り外しは、iPod レバーを倒して、ゆっくりと抜き差ししてください。iPod レバーを倒さずに抜き差しすると、コネクター部の破損の原因となります。
- iPod/iPhone 挿入部に iPod/iPhone 以外の物を入れないでください。

お知らせ

- iPod/iPhone にアダプタが付属されていない場合は、Apple 社からお買い求めください。
- iPod/iPhone のデータ管理について、当社では一切の保証はしていません。
- iPod レバーを倒さずに、無理に iPod/iPhone を取り出すと、iPod レバーのロックが外れる場合があります。この状態で iPod レバーを戻すときは、iPod レバーを２回押してください。

iPod/iPhone を本機で充電する

本機に iPod/iPhone を接続する

例）電源切時

```
iPod Charging
            □
```

● 充電が完了したかどうかは iPod/iPhone の画面で確認してください。

お願い

- 充電完了後、iPod/iPhone を長期間使用しないときは、本機から外しておいてください。充電後の自然放電により電池が消耗しても追加充電はされません。

iPod/iPhone の音楽を本機で聴く

1 本機に iPod/iPhone を接続する

2 [iPod ▶/❚❚] を押す

● [iPod ▶/❚❚] は短く押してください。長く押すと再生できない場合があります。

■ 本機のリモコンでの操作

一時停止する	[iPod ▶/❚❚] を押す • 再開するにはもう一度押す
	[■]（停止）を押す • 再開するには［iPod ▶/❚❚］を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[⏮]［⏭]（本体では［⏮/◀◀]［▶▶/⏭]）を押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	[⏮]［⏭]（本体では［⏮/◀◀]［▶▶/⏭]）を聴きたい位置まで押したままにする
選曲メニュー画面に入る	[iPod MENU］を押す • 選んで決定するには［▲］［▼］で選び、［決定］を押す • 一つ前の画面に戻るときは［iPod MENU] を押す（［戻る］は使用できません。）
音量を調節する	[＋ 音量 －］を押す

お知らせ

• すでに iPod/iPhone が接続されている場合、電源切時に［iPod ▶/❚❚］を押すと、電源が入り、iPod 再生が始まります。（ワンタッチプレイ）
• 操作表示は iPod/iPhone の画面で確認してください。

iPod/iPhone の音楽を SD に録る

• 26 ページの「録音するまえに」もお読みください。

• iPod/iPhone を接続し、録音したいプレイリストなどを選んでおく
• 録音用 SD カードを入れておく
• 録音モードを選んでおく（➜ 28 ページ）

1 録音タイプを選ぶ

（➜ 28 ページ「録音タイプを選ぶには」）

2 [SD 録音 ●/❚❚］を押す

録音が始まり、“REC”が表示されます。

3 [iPod ▶/❚❚］を押して iPod/iPhone を再生する

「SYNCHRO」の場合、音の出始めから録音が始まり、“REC”が表示されます。

■ 本機のリモコンでの操作

録音を停止する	[■]（停止）を押す
曲を飛ばす（スキップ）	本機と iPod/iPhone の一時停止中に [⏮] [⏭]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を押す
iPod/iPhone を一時停止する	[iPod ▶/❚❚］を押す
録音を一時停止する	[SD 録音 ●/❚❚］を押す（録音は一時停止し、iPod/iPhone 側は再生を続けます。） • 「SYNCHRO」録音中はできません。 • 再開するにはもう一度押す（トラックマークが付きます。）

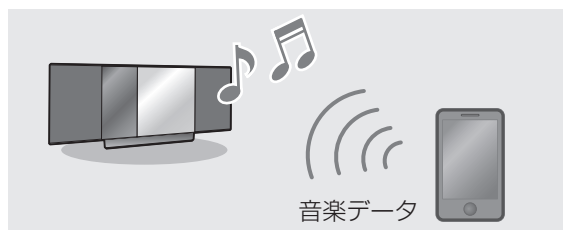
■ 手動でトラックマークを付けるには：録音中に［決定］を好みの位置で押す（「TR Marking」が表示されます。）

•「SYNCHRO」録音中はできません。

お知らせ

• 音源や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
• SD から iPod/iPhone への録音はできません。
• iPhone から録音している場合、iPhone に着信があると着信音が録音されます。
iPhone からの録音を優先したい場合は、iPhone 側で着信しないように設定してください。

ワイヤレスで音楽を楽しむ

本機では、iPhone などの Bluetooth® 対応機器と接続して再生したり、SD に録音したりできます。
例えば
• iPhone を手元で操作して、本機のスピーカーで音楽を聴く
• 本機のリモコンを操作して、パソコンや携帯電話の音楽を聴く

• 本機から Bluetooth® 対応機器への送信はできません。

Bluetooth®（ブルートゥース）とは…
電子機器同士をワイヤレス（無線）でつなぐことにより、ケーブルを使用することなく通信できる技術のことです。42 ページ「Bluetooth® 使用上のお願い」もご覧ください。

推奨する Bluetooth® 対応機器の最新のサポート情報は、下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

■ 本機で Bluetooth® を楽しむには、接続機器が下記に対応している必要があります。

Bluetooth® バージョン
• Bluetooth® 標準規格 Ver.1.1、1.2、2.0+EDR または 2.1+EDR のいずれか

Bluetooth® プロファイル
• Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
• Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)

• 携帯電話の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法 / 表示 / 動作が異なる場合があります。
• 本機と接続機器が近くにあっても電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。また、接続機器をポケットやかばんに入れた状態で本機に Bluetooth® 接続する場合、ポケットやかばんの位置、接続機器の向きによっては、音が途切れたり雑音が入る場合があります。
• 本機は SCMS-T 方式で著作権保護されている A2DP の受信に対応しています。

共通操作
■ 設定中に前の画面に戻る：［戻る］を押す
■ 設定を途中で止める：［■］（停止）を押す

ワイヤレスで音楽を楽しむには次の方法があります。

■ **初めてお使いになるときは**
機器登録が必要です。お持ちの Bluetooth® を本機に登録してください。
➜ 下記「初めて機器を登録して再生する」

■ **機器登録が済んでいるときは**
登録済みの Bluetooth® 機器と本機を Bluetooth® 接続します。
➜ 23 ページ「登録済みの機器を再生する」

■ **機器を追加登録するときは**
新たに Bluetooth® 機器を追加登録して再生を行います。
➜ 23 ページ「機器を追加登録して再生する」

初めて機器を登録して再生する

本体側での操作

1 **［ ▶/❚❚］を押してセレクターを BLUETOOTH に切り換える**

Pairing

● 機器がすでに登録されているときは、「BLUETOOTH Ready」と表示されることがあります。この場合は「登録済みの機器を再生する」（➜ 23 ページ）の手順 2 から行ってください。

接続機器側での操作

2 **Bluetooth® の設定画面などを開き、機器名（SC-HC40）を選んで登録する**

● iPod/iPhone の場合は、登録が済むと自動的に接続されます。
● パスキー入力が求められた場合※1 は「0000」※2 を入力してください。

Bluetooth® 接続すると、登録機器を表示後、元の画面に戻ります。（Bluetooth® ランプが点灯します。）

● 上記以外にも設定が必要な場合があります。くわしくは接続機器の取扱説明書などをご覧ください。

3 **Bluetooth® 機器側の音楽再生画面で再生を開始する**

● Bluetooth® 機器側で操作してください。（音量は本機側で調節してください。）

お知らせ

※1 Bluetooth® バージョンが 2.1+EDR に対応していない機器は、パスキーの入力が必要です。
※2 「0000」は本機（SC-HC40）のパスキーです。

登録済みの機器を再生する

本体側での操作

1 [Ⓑ ▶/❚❚] を押してセレクターを BLUETOOTH に切り換える

BLUETOOTH
⬇ ⬆
Ready

接続機器側での操作

2 機器名（SC-HC40）を選んで接続する
● くわしくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

3 Bluetooth® 機器側の音楽再生画面で再生を開始する
● Bluetooth® 機器側で操作してください。（音量は本機側で調節してください。）

機器を追加登録して再生する

- 本機は、最大 6 つまで Bluetooth® 機器を登録しておくことができます。

- [Ⓑ ▶/❚❚] を押してセレクターを BLUETOOTH に切り換えておく
- Bluetooth® 接続を解除しておく（➡ 右記）

本体側での操作

1 [機能選択] を押す

2 [▲] [▼] で「NEW DEVICE」を選び、[決定] を押す

接続機器側での操作

3 手順 2 から 5 分以内に、Bluetooth® の設定画面などを開き、機器名（SC-HC40）を選んで登録する
● パスキー入力が求められた場合は「0000」を入力してください。
● 5 分経過した場合は、手順 1 からやり直してください。

4 Bluetooth® 機器側の音楽再生画面で再生を開始する
● Bluetooth® 機器側で操作してください。（音量は本機側で調節してください。）

お知らせ
- 機器登録で最大登録数を超えて登録しようとすると、接続履歴が古いものから上書きされます。
- 登録済みの機器を登録した場合は、上書きされます。
- Bluetooth® 接続中は機器登録できません。一旦接続を解除してください。

接続機器を本機で操作する

- Bluetooth® 接続機器を本機のリモコンや本体ボタンで操作することも可能です。接続機器がパソコンの場合などに便利です。

■ 本機のリモコンでの操作

操作	方法
停止する	[■]（停止）を押す
一時停止する	[Ⓑ ▶/❚❚] を押す • 再開するにはもう一度押す
曲を飛ばす（スキップ）	[⏮] [⏭]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を押す※
音量を調節する	[＋ 音量 －] を押す
接続機器の名前などを見る	[表示切換 / ーディマー] を数回押す

お知らせ
※機器によっては操作できないものもあります。
- 接続機器で Bluetooth® 送信した場合、本機の「受信モード」の設定により、再生する状態が変わります。（➡ 24 ページ「Bluetooth® のオーディオ信号受信時の本機の動作を設定するには」）
- Bluetooth® 接続をして音楽を再生している iPod/iPhone を本機のコネクター部に接続すると、BLUETOOTH セレクターでは音声が出なくなります。この場合はセレクターを iPod にしてください。
- iPod/iPhone で、Bluetooth® の設定画面を開いたままにしたり Bluetooth® の登録や接続などの操作を行うと、本機が受信している音声が途切れることがあります。その場合は、iPod/iPhone の Bluetooth® 設定画面を閉じてください。
- [Ⓑ ▶/❚❚] を押しても Bluetooth® 受信再生が始まらない場合は、一旦接続を解除（➡下記）してから次のいずれかの操作を試してください。
  - 再度 [Ⓑ ▶/❚❚] を押して再接続する
  - Bluetooth® 機器側の音楽再生機能を動作させた状態で本機の [Ⓑ ▶/❚❚] を押す
  - Bluetooth® 機器側から Bluetooth® 接続を行う（くわしくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。）

接続を解除する

- [Ⓑ ▶/❚❚] を押してセレクターを BLUETOOTH に切り換えておく

1 [機能選択] を押す

2 「DISCONNECT」が選ばれているので、[決定] を押す

3 [▲] [▼] で「YES」を選び、[決定] を押す

「Disconnect」が表示され、受信待機状態になります。

● 接続機器で Bluetooth® 送信を中止しても受信を止めることができます。

ワイヤレスで音楽を楽しむ（つづき）

登録機器の音楽を SD に録る

• 26 ページの「録音するまえに」もお読みください。

• Bluetooth® の接続をしておく（➔ 22、23 ページ）
• 録音モードを選んでおく（➔ 28 ページ）

1 録音タイプを選ぶ

（➔ 28 ページ「録音タイプを選ぶには」）

2 ［SD 録音 ●/❚❚］を押す

録音が始まり、“REC”が表示されます。

3 接続機器で再生を始める

「SYNCHRO」の場合、音の出始めから録音が始まり、“REC”が表示されます。

■ 本機のリモコンでの操作

録音を停止する	［■］（停止）を押す
接続機器を一時停止する	［ ▶/❚❚］を押す
曲を飛ばす（スキップ）	本機と接続機器の一時停止中に［⏮］［⏭］（本体では［⏮/◀◀］［▶▶/⏭］）を押す※
録音を一時停止する	［SD 録音 ●/❚❚］を押す（録音は一時停止し、接続機器側は再生を続けます。） •「SYNCHRO」録音中はできません。 • 再開するにはもう一度押す（トラックマークが付きます。）

■ 手動でトラックマークを付けるには：録音中に［決定］を好みの位置で押す（「TR Marking」が表示されます。）

•「SYNCHRO」録音中はできません。
• 音源や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。

お知らせ

※機器によっては操作できないものもあります。

• iPhone から録音している場合、iPhone に着信があると着信音が録音されます。
また、iPhone で着信に応答すると、受話音声が録音される場合があります。
iPhone からの録音を優先したい場合は、iPhone 側で着信しないように設定してください。
iPhone 以外の Bluetooth® 対応携帯電話でも同様の動作になる場合があります。

Bluetooth® 機能の設定をする

■ 音量に過不足を感じるときは（入力レベルの変更）：［再生モード］を押す

押すたびに

Level 0 ⟶ **Level +1** ⟶ **Level +2** ⟶ （Level 0 に戻る）

お知らせ

• 入力レベルの設定は BLUETOOTH のみで有効になります。

■ 通信時の品質を設定するには：

音質または通信のどちらを重視するかを設定します。

• お買い上げ時の設定は「MODE 1」です。

① Bluetooth® の接続が解除されている状態で、［機能選択］を押す
② ［▲］［▼］で「LINK MODE」を選び、［決定］を押す
③ ［▲］［▼］で「MODE 1」または「MODE 2」を選び、［決定］を押す

MODE 1：	Bluetooth® 通信中の通信状態の安定性を重視（通信が途切れにくくなります。）
MODE 2：	Bluetooth® 通信中の音質を重視

• 接続機器側の設定が通信品質重視の場合、本機の通信品質設定を音質重視にしても、通信品質重視の動作になります。

■ Bluetooth® のオーディオ信号受信時の本機の動作を設定するには：

• お買い上げ時の設定は「ON」です。

① Bluetooth® の接続が解除されている状態で、［機能選択］を押す
② ［▲］［▼］で「AUTO LINK」を選び、［決定］を押す
③ ［▲］［▼］で「ON」または「OFF」を選び、［決定］を押す

ON：	電源入時、Bluetooth® 信号を受信すると、自動的にセレクターを BLUETOOTH に切り換え
OFF：	自動的にセレクターは切り換わりません

お知らせ

•「AUTO LINK」の設定は A2DP のみに対応しています。

iPhone を本機に接続したまま通話する

Bluetooth® 接続をしている携帯電話に電話がかかってきた場合に、本機のスピーカーや通話マイクを使って電話に出ることができます。(ハンズフリー機能) iPhone の場合は、本機に入れたまま通話ができるので便利です。(本機での発信操作はできません。)

■ 本機でハンズフリー機能を使うには、接続機器が下記に対応している必要があります。
Bluetooth® プロファイル
• Hands-Free Profile (HFP)
ヘッドセットプロファイルには対応していません。

電話がかかってくると、音楽の再生が消音され、本機のスピーカーから着信音が聞こえます。(「In Call」が表示されます。)

• Bluetooth® の接続をしておく (→22、23 ページ)

1 電話がかかってきたら、[ ] を押す

「Calling」が表示され、Bluetooth® ランプが点滅します。

● [■/] を押すと、着信を拒否します。

2 本体の通話マイクを使って通話をする

本機のスピーカーから相手側の音声が聞こえます。

3 通話が終わったら、[■/] を押す

■ 本機のリモコンでの操作

マイクの声を消音する	通話中に [消音] を押す 「Mic Mute」が表示され、相手側にマイクの音が聞こえなくなります。 • 解除するにはもう一度押す
受話音量を調節する	[+ 音量 −] を押す

■ ハンズフリーから通常の通話に切り換えるには：

① 通話中に [ ] を押す (音声が転送されます。)
② 本機から iPhone を取り出して操作し、通話する

• 通話マイクでの通話に戻すにはもう一度 [ ] を押します。

お知らせ

• 着信音や通話中の受話音量は、24 ページの入力レベルの変更によっても変わります。
• 消音している場合でも、着信中は一時的に解除されます。
• ハンズフリー通話中は、CD/SD は一時停止になります。
• iPhone からの録音中に電話がかかってきた場合、自動的に録音は止まりません。
• 録音中のハンズフリー着信音は、本機のスピーカーからは聞こえません。
• 録音中はハンズフリー機能での通話はできません。iPhone を本機から取り出して、通常の通話をしてください。
• 携帯電話が本体の通話マイクに近接していると、雑音が発生することがあります。その場合、携帯電話を本体の通話マイクから少し離してお使いください。
• iPhone を本機に装着してハンズフリー通話待機などを行う場合は、充電後の自然放電による電池の消耗を抑えるために、iPhone の自動ロック設定を有効にしておくことをおすすめします。

録音するまえに

本機で SD に録音した曲（音楽データ）は、SD オーディオフォーマット※1 に対応した著作権保護付きの AAC データになります。

※1 SDアソシエーションにて制定されたSDカードのオーディオ規格です。

■高速録音の速度について

CD から SD へ最大 8 倍速で録音します。（LP モードは最大 5 倍速になります。）

74 分の CD なら、SD へ約 12 分で録音が完了します。

- CD-RW からの録音は、2 倍速になります。
- ディスクや条件によっては、最大倍速にならない場合や、高速録音できない場合があります。高速録音できない場合は、通常速での録音を行ってください。
- 高速録音は、常に最大倍速になるわけではありません。
- CD から SD カードへ高速録音するときは、当社製 SD カードのご使用をおすすめします。

■録音モード

録音モードによって、録音時間や音質が異なります。好みの録音モードを選んでください。

- 録音モードを選ぶには、28 ページをご覧ください。

■録音モードの表示について

SD を再生すると、表示部に録音時のモードが表示されます。（データが AAC のときのみ）

例）

標準モードで録音した曲

本機以外の機器で録音された曲の場合、表示されないことがあります。

■録音可能時間と記録曲数のめやす（1 曲を約 4 分とした場合）

● 録音モード：XP（128 kbps）

カード容量	録音可能時間	記録曲数
128 MB	約 2 時間 10 分	約 30 曲
256 MB	約 4 時間 14 分	約 60 曲
512 MB	約 8 時間 23 分	約 125 曲
1 GB	約 16 時間 47 分	約 250 曲
2 GB	約 34 時間 8 分	約 510 曲
4 GB	約 66 時間 29 分	約 999 曲
8 GB	約 136 時間 27 分	
16 GB 以上	約 139 時間 5 分※2	

● 録音モード：SP（96 kbps）

カード容量	録音可能時間	記録曲数
128 MB	約 2 時間 53 分	約 40 曲
256 MB	約 5 時間 38 分	約 80 曲
512 MB	約 11 時間 11 分	約 165 曲
1 GB	約 22 時間 23 分	約 335 曲
2 GB	約 45 時間 31 分	約 680 曲
4 GB	約 88 時間 39 分	約 999 曲
8 GB	約 139 時間 5 分※2	
16 GB 以上		

● 録音モード：LP（64 kbps）

カード容量	録音可能時間	記録曲数
128 MB	約 4 時間 20 分	約 65 曲
256 MB	約 8 時間 28 分	約 125 曲
512 MB	約 16 時間 47 分	約 250 曲
1 GB	約 33 時間 34 分	約 500 曲
2 GB	約 68 時間 17 分	約 999 曲
4 GB	約 132 時間 59 分	
8 GB	約 142 時間 38 分※2	
16 GB 以上		

※2 SD オーディオ規格上の制約により、曲数に限らず最大記録時間に限界があり、この時間以上は記録できません。

- 上記表の時間値は最大記録時間です。記録する曲数や曲ごとの時間により、短くなることがあります。
- SD オーディオ規格では、曲の書き込みに制限があります。1 枚あたりの曲数は最大 999 曲、1 枚あたりのプレイリスト数は最大 99、ひとつのプレイリストあたりの曲数は最大 99 曲です。ただし、1 曲の最大管理時間が約 8 分 30 秒であるため、それを超えて記録された場合の最大曲数は 999 曲よりも少なくなります。
- 本機に入れた SD カードの録音可能時間を確認するには「タイトルや録音可能時間などの情報を見る」（➜ 40 ページ）をご覧ください。

■録音タイプ

トラック分割の方法を選びます。iPod/iPhone、Bluetooth®、ラジオや外部機器の録音時に設定できます。

• 録音タイプを選ぶには、28 ページをご覧ください。

MANUAL	通常の録音タイプです。 • トラックは自動的に分割されません。 • 録音中に手動でトラックマークを付けることができます。
AUTO (5 MIN)	5 分おきにトラックマークが自動的に追加されます。 • 録音中に手動でトラックマークを付けることができます。
SYNCHRO	iPod/iPhone や外部機器の再生が始まると自動的に録音が開始されます。（再生が始まるまでは録音待機状態になります。） • ラジオ録音時は設定できません。 • 手動でトラックマークを付けることはできません。

お知らせ

• 「SYNCHRO」では無音状態が約 2 秒続くと一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置にトラックマークが付きます。
• 録音する曲の種類によっては、「SYNCHRO」を使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、「MANUAL」または「AUTO (5 MIN)」で録音してください。

SD カードへの録音時のお願い

SD カードを保護するために…

• 録音中に SD カードを取り出さないでください。取り出すと、現在行っている動作が停止し、正しく録音できません。
• 録音が終わっても、「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示中や SD ランプと“SD”の点滅中は、絶対に SD カードを取り出さないでください。SD カードが使えなくなることがあります。

録音時に誤って取り出してしまったときは…

• 録音が停止します。CD、iPod/iPhone や外部機器などから録音していた場合は、SD カードを入れ直し、録音した内容を確認してください。正しく録音されていない場合は録音内容を消去して、もう一度録音してください。（ラジオなどからの録音では復元できませんので、ご注意ください。）

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録音 / 編集ができなかった場合の内容の補償、録音 / 編集した内容（データ）の損失、および直接 / 間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

SD に録る

本機で SD カードを初めて使用される場合には、SD カードを本機で初期化（CARD FORMAT）してください。（➔ 33 ページ）

高速録音（イッキ録り含む）とは
音を出さずに高速で録音します。
通常速録音とは
音を聴きながら通常速度で録音します。

共通操作
■ 録音を停止するには：[■]（停止）を押す
■ SD の録音可能残り時間を確認するには：[表示切換 / ―ディマー] を数回押す

• CD から SD への録音中、一時停止はできません。

録音モードを選ぶには

1. **[録音モード] を押す**
2. **[▲] [▼] で「SD REC MODE」を選び、[決定] を押す**
3. **[▲] [▼] で録音モード**（➔ 26 ページ）**を選び、[決定] を押す**

録音タイプを選ぶには

録音タイプは録音する音源（FM/AM/AUX/iPod/BLUETOOTH）ごとに設定できます。

1. **録音する音源セレクターに切り換える**
2. **[録音モード] を押す**
3. **[▲] [▼] で「TRACK MARK」を選び、[決定] を押す**
4. **[▲] [▼] で録音タイプ**（➔ 27 ページ）**を選び、[決定] を押す**

CD を SD にイッキ録りする 高速録音

イッキ録りすると、CD ごとにひとつのプレイリストとして録音されるので、SD の管理がしやすくなります。
また、SD Title Editor（別売）を使うと、タイトルなどを自動で入力することもできます。（➔ 35 ページ「SD Title Editor を使う」）

• 録音する CD と録音用 SD カードを入れておく
• 録音モードを選んでおく（➔ 左記）
• [CD ▶/❚❚] → [■]（停止）を押してセレクターを CD に切り換えておく

1. **[録音モード] を押す**
2. **[▲] [▼] で「HI-SPEED MODE」を選び、[決定] を押す**
3. **[▲] [▼] で「AUTO REC」を選び、[決定] を押す**
4. **[CD 高速録音] を押したまま [SD 録音 ●/❚❚] を押す**

   CD の情報を確認後、SD へのイッキ録りが始まります。

   Auto REC
   SP HI-SPEED REC SD

■ **イッキ録りを始めると**
• 途中の曲までしか録音できない場合、録音できる範囲が約 6 秒間表示されます。
例）「REC T1–T5」という表示は、CD の 1 曲目から 5 曲目まで録音できることを表しています。
表示中に、[■]（停止）を押すとイッキ録りを解除できます。録音モードを選び直すことで全曲録音できる場合があります。
• 「Rec Retry」と表示している場合は、CD の情報をうまく読み取れなかったため、自動的に録音し直しています。表示中はボタン操作をしないでください。

お知らせ
• イッキ録り時はプログラム設定やランダム設定は自動的に解除されます。

CD を SD に録る 高速録音

- 録音する CD と録音用 SD カードを入れておく
- 録音モードを選んでおく（➔ 28 ページ）
- ［CD ▶/❚❚］→［■］（停止）を押してセレクターを CD に切り換えておく

1 **［再生モード］を押して録音範囲を選ぶ**

押すたびに

1 Track ──→ Random
└─（表示なし）←─┘

表示なし：	CD 全曲を録音する
1 Track：	1 曲を録音する
Random：	録音できません

2 **（高速録音時のみ）**

① **［録音モード］を押す**

② **［▲］［▼］で「HI-SPEED MODE」を選び、［決定］を押す**

③ **［▲］［▼］で「NORMAL REC」を選び、［決定］を押す**

3 高速で録音する

［CD 高速録音］を押したまま［SD 録音 ●/❚❚］を押す

録音が始まり、"HI-SPEED REC" が表示されます。

通常速で録音する

［SD 録音 ●/❚❚］を押す

録音が始まり、"REC" が表示されます。

■ **途中の曲から録音するには**：停止中に［⏮］［⏭］（本体では［⏮/◀◀］［▶▶/⏭］）を押して、録音を始めたい曲を表示させた状態で、録音する

CD の曲を選んで SD に録る
プログラム録音

- 録音する CD と録音用 SD カードを入れておく
- 録音モードを選んでおく（➔ 28 ページ）
- ［CD ▶/❚❚］→［■］（停止）を押してセレクターを CD に切り換えておく

1 **好みの曲を選ぶ**

➔ 曲を選ぶには、13 ページ「曲を選んで聴く」手順❶、❷

2 **［SD 録音 ●/❚❚］を押す**

録音が始まり、"REC" が表示されます。

ラジオを SD に録る

- ラジオを受信しておく
- 録音用 SD カードを入れておく
- 録音モードを選んでおく（➔ 28 ページ）

1 **録音タイプを選ぶ**

（➔ 28 ページ「録音タイプを選ぶには」）

2 **［SD 録音 ●/❚❚］を押す**

録音が始まり、"REC" が表示されます。

■ **一時停止するには**：［SD 録音 ●/❚❚］を押す（録音は一時停止し、ラジオは受信を続けます。）
- 再開するには、もう一度押す（トラックマークが付きます。）

■ **手動でトラックマークを付けるには**：録音中に［決定］を好みの位置で押す（「TR Marking」が表示されます。）

SD に録る（つづき）

テレビなど外部機器の音声をSD に録る

① テレビ、有線放送、BS/CS チューナーの場合は、好みの放送局を受信しておく
ポータブル機器の場合、ポータブル機器側で音量を調節しておく
② 外部機器を接続しておく（➜ 18 ページ）
③ 録音用 SD カードを入れておく
④ 録音モードを選んでおく（➜ 28 ページ）
⑤ ［AUX］を押してセレクターを AUX に切り換えておく

1 録音タイプを選ぶ

（➜ 28 ページ「録音タイプを選ぶには」）

2 ［SD 録音 ●/❚❚］を押す

録音が始まり、“REC”が表示されます。

3 外部機器を再生する

「SYNCHRO」の場合、音の出始めから録音が始まり、“REC”が表示されます。

■ **停止するには**：録音中に［■］（停止）を押す
■ **一時停止するには**：［SD 録音 ●/❚❚］を押す（録音は一時停止し、外部機器側は再生を続けます。）
• 再開するには、もう一度押す（トラックマークが付きます。）
•「SYNCHRO」録音中はできません。
■ **SD の録音可能残り時間を確認するには**：［表示切換］を数回押す
■ **手動でトラックマークを付けるには**：録音中に［決定］を好みの位置で押す（「TR Marking」が表示されます。）
•「SYNCHRO」録音中はできません。

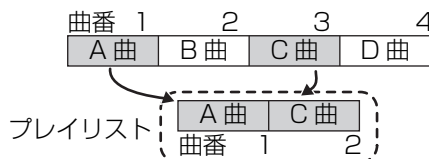
お知らせ

• 音源や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
• 音量に過不足を感じる場合は入力レベルを変更してください。（➜ 19 ページ）

SD を編集する

プレイリストを編集したり、不要な曲を消去したりして、自分だけのオリジナル SD が作れます。

プレイリストとは

録音した曲（トラック）を集めて、再生したい順に並べたものです。

SD カードの最大記録数

• プレイリスト数：99
• ひとつのプレイリストに登録できる曲数：99

• プレイリストは再生順を登録するだけなので、SD カードの容量はほとんど使いません。
• 一度に消去する曲数が多い場合や、消す曲が多数のプレイリストに登録されている場合、消去に時間がかかることがあります。
• 機能選択画面は、SD カードに音楽データがないときは「CARD FORMAT」しか表示されません。

• 編集したい SD カードを入れておく
• ［SD ▶/❚❚］ → ［■］（停止）を押してセレクターを SD に切り換えておく
• 必要な場合、編集したいプレイリストを選んでおく

共通操作

■ **編集中に前の画面に戻る**：［戻る］を押す
■ **途中で編集を止める**：［■］（停止）を押す

お願い

• 編集が終わっても、「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示中や SD ランプと“SD”の点滅中は、絶対に SD カードを取り出さないでください。SD カードが使えなくなることがあります。
• SD カードの編集中に SD カードを取り出してしまったときは、SD カードを入れ直し、編集内容を確認してください。正しく編集されていない場合は、もう一度編集してください。

プレイリストを作成する PL CREATE

1 停止中に
[機能選択] を押す

2 ① [▲] [▼] で「PLAYLIST」を選び、[決定] を押す
② [▲] [▼] で「PL CREATE」を選び、[決定] を押す

3 ① [▲] [▼] でプレイリストに登録する曲を選び、[|◀◀] [▶▶|] でチェックを付ける

＊1.Track001

選択すると表示

● 続けて選ぶときは、この操作をくり返してください。

② [決定] を押す

4 プレイリスト名を入力する
(➜ 34 ページ「文字入力のしかた」)
文字入力が完了すると、「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

お知らせ

・すでにプレイリストが 99 ある場合はメニューに「PL CREATE」は表示されません。作成する場合は、不要なプレイリストを解除してください。

プレイリストを解除する PL REMOVE

・プレイリスト内の曲は消去されません。

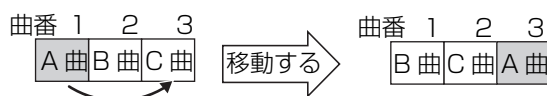
1 停止中に
[機能選択] を押す

2 ① [▲] [▼] で「PLAYLIST」を選び、[決定] を押す
② [▲] [▼] で「PL REMOVE」を選び、[決定] を押す

3 [▲] [▼] で解除するプレイリストを選び、[決定] を押す

3.Playlist03

「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

曲を移動する MOVE TRACK

1 停止中に
[機能選択] を押す

2 ① [▲] [▼] で「PLAYLIST」を選び、[決定] を押す
② [▲] [▼] で「MOVE TRACK」を選び、[決定] を押す

3 [▲] [▼] [|◀◀] [▶▶|] で移動元と移動先のトラックを選び、[決定] を押す

● [▲] [▼] でトラックを選び、[|◀◀] [▶▶|] で移動元 / 移動先を選びます。

T1->T3

移動元　移動先

「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

SD を編集する（つづき）

プレイリストに曲を追加する ADD TRACK

1 停止中に
［機能選択］を押す

2 ① ［▲］［▼］で「PLAYLIST」を選び、［決定］を押す
② ［▲］［▼］で「ADD TRACK」を選び、［決定］を押す

3 ① ［▲］［▼］でプレイリストに追加したい曲を選び、［|◀◀］［▶▶|］でチェックを付ける

＊1.Track001
選択すると表示

● 続けて選ぶときは、この操作をくり返してください。

② ［決定］を押す

4 ［▲］［▼］でプレイリストを選び、［決定］を押す

「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

プレイリストから曲を除外する REMOVE TRACK

・元の曲は消去されません。
・プレイリストから全曲除外すると、プレイリストは自動的に解除されます。

1 停止中に
［機能選択］を押す

2 ① ［▲］［▼］で「PLAYLIST」を選び、［決定］を押す
② ［▲］［▼］で「REMOVE TRACK」を選び、［決定］を押す

3 ［▲］［▼］でプレイリストを選び、［決定］を押す

4 ① ［▲］［▼］でプレイリストから除外したい曲を選び、［|◀◀］［▶▶|］でチェックを付ける

＊1.Track001
選択すると表示

● 続けて選ぶときは、この操作をくり返してください。

② ［決定］を押す

「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

曲を選んで消す TRACK DELETE

1 停止中に
［機能選択］を押す

2 ① ［▲］［▼］で「DELETE」を選び、［決定］を押す
② ［▲］［▼］で「TRACK DELETE」を選び、［決定］を押す

3 ① ［▲］［▼］で消去したい曲を選び、［|◀◀］［▶▶|］でチェックを付ける

● 一度に 24 曲まで選べます。

＊1.Track001
選択すると表示

● 続けて選ぶときは、この操作をくり返してください。

② ［決定］を押す

4 ［▲］［▼］で「YES」を選び、［決定］を押す

DELETE?　　YES

「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

プレイリスト内の全曲を消す
PL DELETE

・プレイリストも自動的に消去されます。

1 停止中に
［機能選択］を押す

2 ① ［▲］［▼］で「DELETE」を選び、
［決定］を押す
② ［▲］［▼］で「PL DELETE」を選び、
［決定］を押す

3 ［▲］［▼］でプレイリストを選び、
［決定］を押す

4 ［▲］［▼］で「YES」を選び、
［決定］を押す

DELETE?　　　YES

「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

SD カード内の全曲を消す
ALL DELETE

1 停止中に
［機能選択］を押す

2 ① ［▲］［▼］で「DELETE」を選び、
［決定］を押す
② ［▲］［▼］で「ALL DELETE」を選び、
［決定］を押す

3 ① ［▲］［▼］で「YES」を選び、
［決定］を押す

DELETE?　　　YES

② ［▲］［▼］で「YES」を選び、
［決定］を押す

OK?　　　　　YES

「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。（「No Track」が表示されます。）

お知らせ

・本機などで録音した音楽データだけをすべて消去します。画像などのデータは消去されません。

SD カードを初期化する
CARD FORMAT

SD カードに記録されている、オーディオ以外のファイルも含むすべてのデータを消去します。また、使用前に初期化することで、SD カードの状態を、SD オーディオ記録用に最適化します。

お願い

初期化すると、本機で録音した音楽データだけでなく、SD に記録されているすべてのデータが消去され、元に戻すことができません。
よく確認してから実行してください。

1 停止中に
［機能選択］を押す

2 ［▲］［▼］で「CARD FORMAT」を選び、
［決定］を押す

3 ① ［▲］［▼］で「YES」を選び、
［決定］を押す

FORMAT?　　　YES

② ［▲］［▼］で「YES」を選び、
［決定］を押す

OK?　　　　　YES

「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、初期化が完了します。

● 「No Track」が表示されるまで SD カードを取り出さないでください。SD カードが使えなくなることがあります。

お知らせ

・本機で SD カードを初期化した場合、他の機器で使えないことがあります。
・SD カードの種類により、初期化に時間がかかることがあります。

SD にタイトルを付ける

録音済みの SD にタイトルを付けます。

■ **入力できる文字の種類**
- 半角カナ
- 半角英数

■ **タイトルの種類と入力可能文字数**※
- プレイリスト名：　60 文字
- 曲名：　32 文字
- アーティスト名：　32 文字

※他の機器で記録した SD を本機で編集する場合、入力できる文字数はこれより少なくなることがあります。

- タイトルを付けたい SD カードを入れておく
- ［SD ▶/❚❚］→［■］（停止）を押してセレクターを SD に切り換えておく
- 必要な場合、編集したいプレイリストを選んでおく

共通操作
■ 編集中に前の画面に戻る：［戻る］を押す
■ 途中で編集を止める：［■］（停止）を押す

- 再生中のタイトル入力はできません。
- ランダム / プログラム設定中（➔ 15 ページ）は、タイトル入力できません。
- 入力したタイトルは［表示切換 / ーディマー］を押すと確認できます。（➔ 14、40 ページ）

曲のタイトル / アーティスト名を付ける

1 **停止中に［SD タイトルイン］を押す**

2 ① **［▲］［▼］で「TRACK TITLE」を選び、［決定］を押す**
② **［▲］［▼］でタイトルを付けたい曲を選び、［決定］を押す**

3 ① **曲名を入力する**
（➔ 右記「文字入力のしかた」）
曲名入力完了後、同じ曲のアーティスト名入力画面になります。
② **アーティスト名を入力する**
（➔ 右記「文字入力のしかた」）
文字入力が完了すると、「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、タイトル入力が完了し、次のトラックの選択画面になります。

プレイリストのタイトルを付ける

1 **停止中に［SD タイトルイン］を押す**

2 ① **［▲］［▼］で「PL TITLE」を選び、［決定］を押す**
② **［▲］［▼］でタイトルを付けたいプレイリストを選び、［決定］を押す**

3 **プレイリスト名を入力する**
（➔ 下記「文字入力のしかた」）
文字入力が完了すると、「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、タイトル入力が完了し、元の画面に戻ります。

お知らせ
- プレイリストがないときはメニューに「PL TITLE」は表示されません。（➔ 31 ページ「プレイリストを作成する」）

文字入力のしかた

- タイトル入力画面（➔ 31 ページ、左記、上記）にした後、入力します。

1 **［文字］を押して文字の種類を選ぶ**
押すたびに
<ア>(半角カナ) ⇄ <a>(半角英数)

2 **文字入力ボタンを押して文字を選ぶ**
● 例えば「イ」を入力する場合、
［1ア］を 2 回押します。

イ　　　　　　　　<ア>

➔ 35 ページ「文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字」

3 **［▶▶|］を押す**
次の文字が入力できる状態になります。

イ■　　　　　　　<ア>

● 手順 1 ～ 3 をくり返して入力してください。

4 **［決定］を押す**
入力が完了し、次の画面になります。

■ 文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

• 押すたびに下記の文字が順番に表示され、入力できます。

	半角カナ	半角英数
1ア	アイウエオァィゥェォ	1
2カ ABC	カキクケコ	abcABC2
3サ DEF	サシスセソ	defDEF3
4タ GHI	タチツテトッ	ghiGHI4
5ナ JKL	ナニヌネノ	jklJKL5
6ハ MNO	ハヒフヘホ	mnoMNO6
7マ PQRS	マミムメモ	pqrsPQRS7
8ヤ TUV	ヤユヨャュョ	tuvTUV8
9ラ WXYZ	ラリルレロ	wxyzWXYZ9
0ワヲン	ワヲン	0
≧10 ゛゜ 記号	゛（濁点） ゜（半濁点） 記号（➜ 右記）	記号（➜ 右記）

濁点や半濁点を入力する	≧10 ゛゜ 記号 を数回押す 濁点や半濁点は、表記可能な文字の後ろにだけ入力できます。
記号を入力する	≧10 ゛゜ 記号 を数回押す 押すたびに記号（➜ 右記）が表示されます。
入力した文字を消去する	①［⏮］［⏭］を押して消去する文字にカーソルを合わせる ②［消去］を押す
文字の間に新しい文字を入れる	［⏮］［⏭］を押して挿入位置の右の文字にカーソルを合わせ、文字を入力する
文字の間に空白を入れる	挿入位置の右の文字にカーソルを合わせ、≧10 ゛゜ 記号 を押して「　」（空白）を選ぶ
入力を途中で止める	［■］（停止）押す • すでに確定したタイトルは残ります。

■ 本機で入力できる記号

• 下記の順で表示されます。

※1 入力が可能なときのみ表示

※2 半角カナのときのみ表示

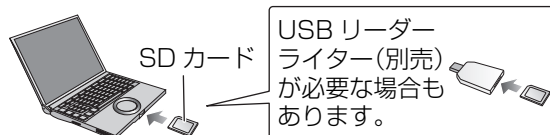
ご参考　SD Title Editor を使う

別売のソフトウェア「SD Title Editor Ver.1.11」を使うと、本機で CD からイッキ録りした SD に対して、タイトル / アーティスト名などの曲情報を自動で入力でき、更に編集もできます。（ただし、SD Title Editor で入力されたタイトルのうち、本機で表示できるのは半角カナ英数に限られます。）

• SDXC メモリーカード対応状況などを確認するには下記のサイトを参照ください。
http://panasonic.jp/support/audio/connect/index.html

以下を準備しておく

• SD Title Editor Ver.1.11
（「パナセンス」でダウンロード購入が可能）
http://club.panasonic.jp/mall/sense/open/index.html
• SD 挿入口を装備し、インターネットに接続した Windows XP、Windows Vista、Windows 7 パソコン (パソコンに SD 挿入口がない場合は USB リーダーライターも準備する。)

① 本機で CD からイッキ録り（➜ 28 ページ）した SD カードをパソコンに挿入する

② SD Title Editor を起動して、タイトル情報を取得する
くわしくは SD Title Editor の取扱説明書をご覧ください。

時計を合わせる

・本機の時計は 24 時間表示です。

1 **[時計 / タイマー] を押す**

SUN --:--

2 **時計画面の表示中に**
[▲] [▼] を押す

SUN 0:00
OK
XP

3 **[▲] [▼] [|◀◀] [▶▶|] で曜日と時刻を選び、[決定] を押す**

● [|◀◀] [▶▶|] で曜日 / 時刻を選び、[▲] [▼] で設定します。

MON 16:05
OK
XP

● [▲] [▼] を押したままにすると、曜日や時刻が連続して変化します。
● 時刻は数字ボタンでも入力できます。
例えば 16 時 5 分の場合、[1]→[6]→[0]→ [5] と押します。(入力を間違えた場合は [消去] を押します。)

[決定] を押した時点から、時計がスタートします。

■ 途中で設定を止めるには : [■] (停止) を押す
■ 時計を確認するには : [時計 / タイマー] を押す (曜日と時刻が 10 秒間表示されます。)

・[時計 / タイマー] を数回押すと元の画面に戻ります。
・電源切時でも [時計 / タイマー] を押すと 10 秒間表示されます。

お知らせ

・時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的な時刻補正をおすすめします。
・コンセントを抜いたり停電したときは、時計を合わせ直してください。

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

[スリープ] を押す

押すたびに

30 Minutes → **60 Minutes** → **90 Minutes** → **120 Minutes** → Sleep Off → (30 Minutes)

30 Minutes
SLEEP
XP

● 解除するには「Sleep Off」を選んでください。

■ 残り時間を確かめるには : [スリープ] を押す

26 Minutes

・数回押すと設定を変えることができます。

お知らせ

・おやすみタイマーとおめざめタイマー / 留守録タイマー (➜ 37 ページ) を組み合わせて使うときは、おやすみタイマーが優先されるので、電源が切れてからおめざめタイマー / 留守録タイマーが動作するように設定してください。

おめざめタイマー / 留守録タイマー

設定した曜日の時刻になると、電源が入って指定した音源を再生（おめざめタイマー）または録音（留守録タイマー）し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

- おめざめタイマー / 留守録タイマーはそれぞれ 3 つまで設定ができます。複数の予約内容を設定して、使い分けることができます。
- 音源が CD/SD のおめざめタイマーは、再生モードやプログラム設定をしておくことが可能です。
- BLUETOOTH のおめざめタイマー / 留守録タイマーはできません。

- 時計を合わせておく（➡36 ページ）
- 再生する音源（CD、iPod/iPhone など）や、録音用 SD カードを準備しておく
- （ラジオの場合）FM/AM の放送局をチャンネルに記憶させておく（➡16 ページ）
- （留守録タイマーの場合）録音タイプや録音モードを選んでおく（➡28 ページ）

1 **［時計 / タイマー］を 2 回押す**

◴PLAY1 [−−−]

2 **［▲］［▼］でタイマーの種類と予約番号を選び、［決定］を押す**

- 「◴ PLAY1」から「◴ PLAY3」まではおめざめタイマー、「◴ REC1」から「◴ REC3」までは留守録タイマーです。（どの番号を選んでもかまいません。）

3 **［▲］［▼］で動作させたい曜日を選び、［決定］を押す**

SUN

SUN	MON	TUE	WED
THU	FRI	SAT	
SUN —> SAT :			毎日
MON —> SAT :			月〜土
MON —> FRI :			月〜金
SAT, SUN :			土日

4 **［▲］［▼］［|◀◀］［▶▶|］で開始時刻と終了時刻を設定し、［決定］を押す**

● ［|◀◀］［▶▶|］で開始 / 終了時刻を選び、［▲］［▼］で設定します。

例）

16：05−>19：00

開始時刻　終了時刻

● 数字ボタンでも入力できます。
● 開始時刻から終了時刻までの時間が 2 分以上になるように設定してください。

■ 他のタイマーと動作時刻が重なっているときは：手順 4 で［決定］を押すと、「Time Overlap」と一時表示されたあと、時刻設定画面に戻ります。

5

おめざめタイマー

① **［▲］［▼］［|◀◀］［▶▶|］で音源と音量を設定し、［決定］を押す**

● ［|◀◀］［▶▶|］で音源 / 音量を選び、［▲］［▼］で設定します。

FM VOL=20

② **（FM/AM の場合のみ）［▲］［▼］でチャンネルを選び、［決定］を押す**

留守録タイマー

① **［▲］［▼］で録音したい音源を選び、［決定］を押す**

FM−>SD

② **（FM/AM の場合のみ）［▲］［▼］でチャンネルを選び、［決定］を押す**

おめざめタイマー / 留守録タイマー(つづき)

6 **[▲] [▼] で「SET」を選び、[決定] を押す**

◴PLAY1 SET

● 無効にするにはこの画面で「OFF」を選んでください。

CD T13
55:34
◴PLAY ◴REC XP

留守録タイマー設定時に表示
おめざめタイマー設定時に表示

7 **[電源] を押して電源を切る（電源を切らないと、タイマーは動作しません。）**

■ **タイマーを設定すると**

おめざめタイマーの場合

- 設定した曜日 / 時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。（動作中は "◴ PLAY" が点滅します。）

留守録タイマーの場合

- 頭切れ防止のため、設定した曜日 / 時刻の少し前になると録音が始まります。（動作中は "◴ REC" が点滅します。）
- 録音中、音量は自動的に「0」になります。（調節することができます。）

■ 設定を最初からやり直すには：[戻る] を押す

■ 途中で設定を止めるには：[■]（停止）を押す

■ タイマーの動作予約を取り消すには：

① 手順 **2** で動作させたくないタイマーを選び、[決定] を押す

② 手順 **6** で「OFF」を選び、[決定] を押す

■ 設定したタイマーを選んで動作させるには：

① 手順 **2** で動作させたいタイマーを選び、[決定] を押す

② 手順 **6** で「SET」を選び、[決定] を押す

■ 設定したタイマーの内容を確認、変更するには：

① 手順 **2** で、確認したいタイマーを選び、[決定] を押す

② 手順 **3** から順に確認、変更していく

- タイマーの内容確認は、電源切時でも可能です。[時計 / タイマー] を 2 回押すと、設定内容が順に表示されます。

お知らせ

- タイマー動作設定後にも、通常の再生操作などが可能です。音源や音量を変更しても、タイマー設定の内容には影響しません。（再生後は必ず電源を切ってください。）
- タイマーは「OFF」にしない限り、設定した曜日 / 時刻に動作します。
- 音源に AUX を選んだ場合は、外部機器側も、同じ曜日 / 時刻に動作するように設定してください。
- 曲やプレイリスト数の多い SD カードに追加録音する場合、録音を開始するまでに時間がかかることがあるため、開始時刻を早めに設定することをおすすめします。
- 留守録タイマーで録音できるのは、ラジオと外部機器のみです。
- ひとつのタイマーの終了時刻が他のタイマーの開始時刻と同じ場合、先に動作するタイマーは予約設定した終了時刻より 1 分前に終了します。
- 留守録タイマーの開始時刻が他の留守録タイマーの終了時刻と同じ場合、録音の開始が遅れる場合があります。

音質・音場効果を楽しむ

好みの音質を楽しむ

好みの音質を選ぶことができます。（EQ：イコライザー）

［プリセット EQ］を押して好みの音質を選ぶ

押すたびに

Heavy → **Soft** → **Clear** → **Vocal** → **Flat** → **Heavy**

Heavy：	ロックなど、パンチを効かせるとき
Soft：	BGM として聴くとき
Clear：	ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
Vocal：	ボーカルにつやを出したいとき
Flat：	音質効果を使わないとき

低域 / 高域を調整する

バス（低域）とトレブル（高域）のレベル調整ができます。

1. ［BASS/TREBLE］を押す
2. ［▲］［▼］［I◀◀］［▶▶I］でバスまたはトレブルのレベルを設定する
   - ［I◀◀］［▶▶I］で BAS.（バス）/TRE.（トレブル）を選び、［▲］［▼］でレベルを設定します。

   BAS.　0 TRE.+2

   - それぞれ「－ 4」から「＋ 4」まで調整できます。
3. ［BASS/TREBLE］を押す

お知らせ

- ［BASS/TREBLE］を押すと、プリセット EQ の設定は自動的に「Flat」になります。

豊かな低音で聴く

低い周波数の重低音を大きくします。

［D.BASS］を押す

押すたびに

D.BASS On ⇄ D.BASS Off

お知らせ

- 再生する音源によっては効果の少ないものもあります。

サラウンド効果を楽しむ

［サラウンド］を押す

押すたびに

Surround On ⇄ Surround Off

より自然な音で聴く

SD/iPod/iPhone/Bluetooth®/AUX の再生時に、より自然な音質にする効果があります。

［リ . マスター］を押す

押すたびに

Re-master On ⇄ Re-master Off

便利な機能

電源の切り忘れを防ぐ AUTO OFF

以下の状態で、ボタン操作のない状態が約 30 分以上続くと、自動的に電源が切れます。
- CD/SD の停止中 / 一時停止中
- AUX/iPod が無音に近い状態
- BLUETOOTH の未接続状態

1 ［設定］を押す

2 ① ［▲］［▼］で「AUTO OFF」を選び、［決定］を押す
② ［▲］［▼］で「ON」を選び、［決定］を押す
● 解除するには「OFF」を選んでください。
決定すると元の画面に戻ります。

■ オートオフを「ON」にすると
- 電源切の 1 分前になると「Auto Off」が表示されます。

■ 一つ前の画面に戻るには：［戻る］を押す
■ 途中で設定を止めるには：［■］（停止）を押す

お知らせ
- 一度設定しておくと、電源を切 / 入してもオートオフ機能（AUTO OFF）が働きます。
- セレクターが BLUETOOTH 以外でも、Bluetooth® 接続中はオートオフ機能は働きません。

タイトルや録音可能時間などの情報を見る

［表示切換 / ーディマー］を数回押す

主な内容
- 再生経過時間
- 再生中の曲の残り時間
- SD タイトル情報（アーティスト名や曲名など）
- SD の曲のデータ形式
- SD の録音可能残り時間
- 放送局名

お知らせ
- 表示される内容は、現在行っている操作や音源などによって異なります。

表示部の明るさを変える

表示部の明るさが変わるまで［表示切換 / ーディマー］を押したままにする

押すたびに
ライト消灯 / 表示部（暗） ⇄ ライト点灯 / 表示部（明）

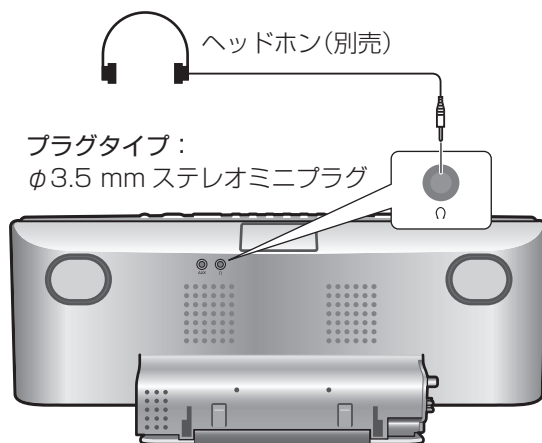
一時的に消音する

［消音］を押す

「Mute」が点滅表示されます。

■ 解除するには：もう一度［消音］を押す／音量を調節する／電源を切 / 入する

お知らせ
- 高速録音中は「Mute」は表示されません。

ヘッドホンで聴く

お願い
- 接続するときは、音量を下げてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

本機の設定 / 情報

共通操作
■ 前の画面に戻る：[戻る] を押す
■ 途中で設定を止める：[■]（停止）を押す

CD の録音ソース（デジタル / アナログ）を選択する

1. **[設定] を押す**
2. **[▲] [▼] で「CD REC SOURCE」を選び、[決定] を押す**
3. **[▲] [▼] で「DIGITAL」または「ANALOG」を選び、[決定] を押す**
   「ANALOG」は通常速録音のみで有効です。「ANALOG」を選んでも、高速録音では自動的に「DIGITAL」に戻ります。

お知らせ
- 「ANALOG」を選んでも、録音が終わると自動的に「DIGITAL」に戻ります。
- アナログ録音中の音量は「36」が最大となります。

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンで本機が誤動作するときに行います。
- お買い上げ時の設定は「REMOTE 1」です。

- 本体側のリモコンモードを切り換えてから、リモコン側を切り換えます。

本体側の切り換え

1. **[設定] を押す**
2. **[▲] [▼] で「REMOCON」を選び、[決定] を押す**

   REMOCON [1]

3. **[▲] [▼] で「REMOTE 2」を選び、[決定] を押す**
4. **[▲] [▼] で「YES」を選び、[決定] を押す**

リモコン側の切り換え

5. **リモコンの [決定] を押したまま、数字ボタンの [2] を４秒以上押したままにする**

設定が終わったら、動作を確認してください。
リモコンの操作ができれば、正しく設定されています。リモコンが働かないときは、画面に表示されている数字にリモコン側を切り換えてください。
例）「U30 REMOTE 2」と表示された場合、リモコンの [決定] を押したまま、数字ボタンの [2] を４秒以上押したままにする。

■ リモコンモードを「REMOTE 1」に戻すには：
① 手順❸で [▲] [▼] を押して「REMOTE 1」を選び、[決定] を押す
② リモコンの [決定] を押したまま、数字ボタンの [1] を４秒以上押したままにする

システムソフトの情報を確認する

1. **[設定] を押す**
2. **[▲] [▼] で「SW VERSION」を選び、[決定] を押す**
   本機のソフトウェアバージョンが表示されます。
   例）

   VERSION 1.00

お知らせ
- 最新バージョンについては下記のホームページでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/audio/

本機のシステムソフトを更新する

システム設定の「SW UPDATE」は、今後、性能改善のためシステムソフトの書き換え（更新）が必要になったときのための機能です。
システムソフトの更新に関する情報を受ける場合に必要ですので、必ずご愛用者登録をお願いします。インターネットでの登録が可能です。くわしくは、裏表紙をご覧ください。

Bluetooth® 使用上のお願い

■ 使用周波数帯
本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ 周波数表示の見かた（定格銘板に記載）

変調方式が FH-SS 方式
2.4 GHz 帯を使用　2.4 FH 1　電波与干渉距離 10 m 以下
2.402 GHz ～ 2.480 GHz の全帯域を使用

Bluetooth® 機器使用上の注意事項
この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合せください。

連絡先：パナソニック株式会社
パナソニック　お客様ご相談センター
（→ 50 ページ）

■ 機器認定
本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
- 分解 / 改造する
- 本機後面に貼ってある定格銘板をはがす

■ 使用制限
- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 機能対応携帯電話とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 機器対応携帯電話は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している携帯電話であれば、一部動作する場合がありますが、携帯電話の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法･表示･動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離
見通し距離約 10 m 以内で使用してください。
間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ 他機器からの影響
- 本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、音飛びや雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。機器により以下の距離を保って使用することをおすすめします。
  - 電子レンジ / ワイヤレス LAN … 約 5 m 以上
  - 電気製品 /AV 機器 /OA 機器 / デジタルコードレス電話 / ファクスなど … 約 2 m 以上
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- ワイヤレス LAN を約 5 m の距離を保って使用していても、音が途切れたり雑音が入る場合は、ワイヤレス LAN の電源を切ってください。

■ 用途制限
本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計･製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ 以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命･身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。
例）原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

Q&A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	テレビをつなぎたい	「AUX」端子に接続すると、音声のみ本機でお楽しみいただけます。	18
	有線放送をつなぎたい	「AUX」端子に接続します。	18
	アナログレコードプレーヤーを接続したい	フォノイコライザー内蔵タイプのプレーヤーなら、「AUX」端子に接続して使用可能です。（機器によってはコネクタ変換が必要）内蔵していないプレーヤーの場合は、外部にフォノイコライザー（他社品）を接続して「AUX」端子に接続してください。	18
SD	SD の録音可能残り時間を知りたい	録音可能残り時間表示になるまで［表示切換 / ―ディマー］を数回押してください。	―
	録音済み SD に上書き録音したい	テープと異なり、上書き録音はできません。 録音可能残り時間が少ないときは、いらない曲を消去してから録音してください。	32, 33
	録音済み SD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	―
	録音前や録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。	―
	IC レコーダーで録音した SD カードを本機で再生できますか？	本機では再生できません。SD オーディオフォーマットで記録された、AAC、WMA、MP3 以外は再生できません。 （IC レコーダーを「AUX」端子に接続することで楽しめます。）	―
	SBR 形式で録音された SD は本機で再生できますか？	本機は SBR 形式には対応していません。本機で再生した場合、音質が悪かったり、雑音が発生することがあります。	―
	他社の SD カード機器（携帯型プレーヤー、コンポ、カーオーディオなど）で、本機で録音した SD カードを再生できますか？	SD カードに記録する音楽データのフォーマットが異なる場合は再生できません。他社の SD カード機器の対応可能なフォーマットが「SD オーディオ」規格に準拠しているかどうかをご確認ください。	―
その他	長期間使用しないのだが、どうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。 ただし、再使用時には、時計の再設定が必要です。	―
	再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも 1 つの方法です。	39
	全曲録音できないが、どうすれば？	CD から SD に録音する場合などで、全曲録音できないことがあります。CD など録音元の総再生時間、SD の録音可能残り時間、録音モードを確かめてから録音してください。	―

お買い上げ時の音質は…？

お買い上げ時には、EQ（イコライザー）が「Heavy」（重低音と高音を強調する音質）に、D.BASS が「D.BASS On」（重低音を強調する音質）に設定されています。

お好みの音質に設定してお楽しみください。
（➜ 39 ページ）

こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　理
Can't Copy	SCMS（➔ 10 ページ）が記録された CD から SD カードに録音しようとしました。	デジタルでは録音できません。［設定］を押し、「CD REC SOURCE」→「ANALOG」を選んで通常速録音をしてください。（➔ 41 ページ）
Card Full	SD カードの容量不足です。	不要な曲を消す（➔ 32、33 ページ）か、SD カードを取り換えてください。
Card Locked	本機では使用できない SD カードです。	SD カードを取り換えてください。
Card Reading	SD カードの情報を読み込んでいます。	「Card Reading」消灯後に操作してください。
		しばらく経ってから操作してください。
CardProtected	SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっています。	録音 / 編集するには、SD カードの書き込み禁止スイッチを解除してください。
Change Time	開始時刻から終了時刻までの時間が短すぎます。	開始時刻から終了時刻までの時間が 2 分以上になるように設定してください。
Check Card	本機では使用できない SD カードです。または、本機で使用できるように初期化がされていません。	SD カードの内容をご確認のうえ、本機でカードを初期化する（➔ 33 ページ）か、SD カードを取り換えてください。
Checking iPod connection	接続した iPod/iPhone を確認中です。	表示が消えてから操作を行ってください。
Clear Program Clear Random	プログラム、ランダム設定中は SD の選曲、録音や編集はできません。	各設定を解除したうえで、操作を行ってください。
CopyProtected	著作権保護されている曲を SD に録音しようとしました。	著作権保護された曲は録音できません。
Dock Unlocked	iPod レバーがきちんとロックされていません。	iPod レバーをきちんとロックしてください。（➔ 20 ページ）
EmergencyStop	異常が発生しました。	SD カードを入れ直し、操作してください。
F70	Bluetooth® のモジュール異常表示です。	電源を切ったあと、電源プラグを抜き差しして、再度電源を入れてください。それでも表示される場合は、電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。
Illegal Open	電動スライドドアが正常な位置にありません。	一度電源を切ってください。
No Card	SD カードが入っていません。	SD カードを入れてください。
NoDevice	iPod/iPhone が接続されていません。	iPod レバーを操作して、iPod/iPhone を接続し、iPod/iPhone がロックされた状態にしてください。（➔ 20 ページ）
	iPod/iPhone が操作できない状態です。	iPod/iPhone の状態を確認してください。
No Disc	CD が入っていません。または、曲の入っていない CD-R などを入れました。	再生できる CD を入れてください。
No Link	使用可能距離 10 m を超えたり、他機器から影響を受けて通信が不安定になっています。	接続機器に近づけてご使用ください。
No Play	再生できない曲です。	その曲をスキップして再生します。
	再生できないディスクです。	再生できるディスク（➔ 9、12 ページ）に取り換えてください。
No Remain	SD カードに空きのない状態で、CD のイッキ録りをしようとしました。	不要な曲を消す（➔ 32、33 ページ）か、新しい録音用 SD カードに取り換えてください。
No Selected	編集対象が選ばれていません。	［▲］［▼］で選び、［⏮］［⏭］で「＊」を付けてから［決定］を押してください。
No Track	SD カードに 1 曲も録音されていません。	（録音にはそのまま使えます。）
Playback Card	再生専用 SD カードに録音 / 編集しようとしました。	録音用 SD カードに取り換えてください。
Program Full	プログラム曲数が 24 曲を超えようとしています。	（これ以上のプログラムはできません。）

REC Retry	CD の情報をうまく読み取れなかったため、自動的に録音し直しています。	表示中は、ボタン操作をしないでください。
Select Over	24 曲を超えて消そうとしています。	1 回の操作で、これ以上は消せません。何回かに分けて操作してください。
	99 曲を超えて選ぼうとしています。	プレイリストに登録できるのは 99 曲までです。
Stop Playback	この操作を行うには再生を止める必要があります。	再生を止めたうえで、操作を行ってください。
T99 PL Full	プレイリストに登録できる最大曲数（99）を超えようとしています。	不要な曲をプレイリストから除外してください。（➜ 32 ページ）
Time Overlap	動作時刻が他のタイマーと重なっています。	重なっている他のタイマーを「OFF」にしてからタイマー設定してください。（➜ 38 ページ）
Title Full	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TOC Reading	CD の情報を読み込んでいます。	「TOC Reading」消灯後に操作してください。
Track Full	SD カードへの録音は最大 999 曲です。	不要な曲を消す（➜ 32、33 ページ）か、SD カードを取り換えてください。
	プレイリストに登録できる最大曲数（99）を超えようとしています。	[⏮/⏪] [⏩/⏭] を押して、「＊」を付けて選んでいる曲を減らしてください。
U30 REMOTE 1 U30 REMOTE 2	リモコンモードの設定が本体と合っていません。	「リモコンモードを変更する」（➜ 41 ページ）でリモコン側を切り換えてください。
⤮（点滅）	ランダム設定中は数字ボタンで曲を選べません。	ランダムを解除したうえで数字ボタンを操作してください。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

こんなときは	ここをご確認ください	参照ページ
■ システム全体に共通		
電源が入っているのに何の操作も受け付けなくなった	本体の［電源 ⏻/I］を約 10 秒以上押したままにして電源を切ってください。それでもうまくいかない場合は、次の操作をして、本機を購入時の設定に戻してください。 ① 一旦電源コードを抜き、本体の［電源 ⏻/I］を押しながら電源コードを接続する。 ② 表示部に「Memory Reset」が表示されるまで本体の［電源 ⏻/I］を押したままにする。	—
電源が入っているのにリモコンや本体で一部の操作ができない	CD 側の電動スライドドアが開いていて、表示部が見えない状態になっていませんか。電動スライドドアを閉めてから使用してください。	—
時間が経つと電源が切れている	オートオフ機能が「ON」になっていませんか。設定を「OFF」にしてください。	40
再生中に「ブーン」という音がする	• 接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。電気器具を本機からできるだけ離してください。 • 電源コードを逆に差しかえてみてください。	—
トラック分割が設定通りに動作しない	録音タイプは、録音音源（FM/AM/AUX/iPod/BLUETOOTH）ごとに設定できます。録音したい音源を選んでから録音タイプの設定をしてください。	27, 28
■ CD		
• CD を入れても、表示部が変わらない	規格外の CD を使用していませんか。	9
• 再生ボタンを押しても再生が始まらない	寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に露付きが生じることがあります。約 1 時間待ってから使用してください。	—
特定の箇所が正常に再生しない	CD を柔らかい布でふいてください。	9
SD への高速録音時に音飛びやノイズが記録される	• ディスクの表面に傷が付いている場合は、CD を交換してください。 • ディスクに指紋がついている場合は、柔らかい布でふいてください。 • 通常速での録音を行ってみてください。	—
CD-R/CD-RW から録音できない	CD-R/CD-RW の記録状態によっては、録音できないことがあります。	—

故障かな！？（つづき）

• 録音中に音量が上がらない • 録音中に音量が下がる	一時停止状態から録音すると、音量は「36」が最大となります。	—
電動スライドドアが正しく閉まらない	電源を入れ直してください。	—

■ SD

パソコンに SD カードを入れたのに動かない	パソコンの SD 挿入口が「著作権保護機能」対応でない場合は、別売の USB リーダーライターなどを準備してください。	53
SD を他のプレーヤー、携帯電話やパソコンで再生できない	再生機器が「SD オーディオフォーマット」に対応していますか。	10
再生、録音、編集、タイトル入力ができない	SD カードは正しく入っていますか。	14
	SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか。解除しないと、録音、編集、タイトル入力ができません。	11
	SD カード以外のカードを入れていませんか。	10

■ラジオ

• FM 放送や AM 放送がうまく受信できない • 雑音、ひずみが多い • “ST” が点滅する	FM 簡易型アンテナや AM ループアンテナを接続してください。	8
	アンテナの設置場所や向きを変えてみてください。	—
	アンテナ線と電源コードをできるだけ離してください。	—
	送信所が遠かったり、近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを利用してみてください。	18
	テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。また、近くで携帯電話の充電をしていませんか。各機器の電源を切る、または本機と各機器との距離を離してください。	—

■ iPod/iPhone

iPod/iPhone を挿入しても、認識されない	• iPod/iPhone が対応している機種かどうか、確認してください。 • iPod/iPhone の状態を確認してください。 くわしくは、下記サポートページで確認してください。 http://panasonic.jp/support/audio/mini/connect/sc_hc40_ipod.html	19
• [iPod MENU] で操作ができない • 充電が完了してもiPod/iPhoneの電源が切れない	iPod/iPhone の状態を確認してください。 くわしくは、下記サポートページで確認してください。 http://panasonic.jp/support/audio/mini/connect/sc_hc40_ipod.html	—

■ Bluetooth®

接続機器の名前が「＊」で表示される	• 名前が不明な機器は「＊＊＊＊＊」と表示されます。 • 本機で表示できない文字は「＊」に置き換えられます。	—
• 音が途切れる • 音が飛ぶ • 雑音が多い	Bluetooth® 通信中に、次のことが考えられます。 • 携帯電話の影響で雑音が入る場合があります。 • 携帯電話の仕様や設定により、携帯電話の操作時に音が途切れる場合があります。	—
	Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えている、もしくは間に障害物があったり、他機器から影響を受けたりしていませんか。接続機器に近づける、また障害物を避けてご使用ください。	—
	通信品質が音質重視になっていませんか。「MODE 1」に設定してみてください。	24
「Calling」が表示されているのに本機の [📞] を押しても通話ができない	本機は割込通話、転送でんわサービス、留守番電話サービスなどに対応していません。通話中に割込着信などが入り、現在の通話を切った後にその着信を受けようとしても、本機で通話操作ができない場合があります。その場合は、携帯電話側で通話操作をしてください。	25

■ リモコン

リモコン操作ができない	乾電池の ⊕、⊖ を正しく入れてください。	4
	新しい乾電池と交換してください。	4
	本体側とリモコン側のリモコンモードが異なっている場合は、リモコン側のリモコンモードを本体と合わせてください。	41
• 本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する • 他の機器のリモコンで本機が誤動作する	他の機器が干渉しないように、本機のリモコンモードを変更してください。	41

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■**誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■**お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

・電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm 以内で本機を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

指はさみ注意

電動スライドドアに指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
- 背面の通気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスク、メモリーカードや iPod/iPhone は、保護のため取り出しておいてください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れ　などは

■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	(　　)　　−
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」「故障かな !?」（→ 44 ～ 46 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- ● 製品名　コンパクトステレオシステム
- ● 品　番　SC-HC40
- ● 故障の状況　できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代　部品および補助材料代
- 出張料　技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間　8 年**

当社は、このコンパクトステレオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ **転居や贈答品などでお困りの場合は、**次の窓口にご相談ください

※「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

http://panasonic.jp/support/

● **修理に関するご相談は**………………

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話　フリーダイヤル（携帯・PHS OK）**0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

● **使いかた・お手入れなどのご相談は**………………………………

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電 話　フリーダイヤル（携帯・PHS OK）**0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合　**06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口　※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青　森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高　山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天　草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大　島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

1109

仕様

■ アンプ部

実用最大出力（両 CH 動作）	40 W (20 W + 20 W) 6 Ω、1 KHz、全高調波ひずみ率 10 %

■ 入出力端子部

ヘッドホン端子	ステレオミニ（φ 3.5 mm） 適合ヘッドホンインピーダンス： 16 ～ 64 Ω
AUX	ステレオミニ（φ 3.5 mm）
iPod/iPhone 端子	iPod/iPhone 専用端子

■ FM チューナー部

受信周波数帯域	76.0 ～ 90.0 MHz（100 kHz ステップ）
アンテナ端子	75 Ω（不平衡型）

■ AM チューナー部

受信周波数帯域	522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

■ CD 部

再生可能ディスク	8 cm/12 cm CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA
サンプリング周波数	44.1 kHz
量子化	16 ビット直線
光源	半導体レーザー
波長	795 nm
レーザーパワー	CLASS Ⅰ
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）

■ SD 部

再生の圧縮 / 伸張方式	AAC/MP3/WMA 方式
サンプリング周波数（AAC）	XP（44.1 kHz）/SP（44.1 kHz）/ LP（32 kHz）
録音速度	CD → SD 最大 8 倍速
録音の圧縮 / 伸張方式	AAC 方式
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）

■ Bluetooth® 部

バージョン	Ver. 2.1+EDR
送信出力	Class 2（2.5 mW）
対応プロファイル	A2DP（受信：SCMS-T 対応）、 AVRCP、HFP
通信方式	2.4 GHz 帯（AFH-SS：適応型周波数ホッピングスペクトラム拡散方式）
見通し通信距離	約 10 m（iPhone 3G、高さ 1 m、MODE1（通信品質重視モード）の条件で測定）※1
電波与干渉距離	10 m 以下

■ スピーカー部

形式	1 ウェイ 1 スピーカーシステム （パッシブラジエーター型） フルレンジ：6.5 cm × 2　コーン型 パッシブラジエーター：8 cm × 4
インピーダンス	6 Ω
防磁設計	防磁なし

■ 総合

電源	AC100 V　50/60 Hz
消費電力	30 W
寸法（幅×高さ×奥行）	500 mm × 201 mm × 102 mm
本体厚み最薄部	69 mm
質量	約 3.0 kg
許容動作温度	0 ℃～ +40 ℃
許容相対湿度	35 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

電源切（スタンバイ※2）時の消費電力：約 0.04 W

※1 使用条件などにより異なる場合があります

※2 iPod/iPhone 非充電時

注）・この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
・全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

別売品のご紹介

別売品の品番は、2010 年 4 月現在のものです。
品番は変更されることがあります。
• 連携できる機器品番情報や SDXC メモリーカード対応状況などを確認するには下記のサイトを参照ください。
http://panasonic.jp/support/audio/connect/index.html

■ パソコンで SD カードの音楽を再生するためには
● SD オーディオ対応音楽ソフト
• SD-Jukebox（ダウンロード版）
（下記「パナセンス」でダウンロード購入が可能）
http://club.panasonic.jp/mall/sense/open/index.html
● USB リーダーライター（著作権保護機能付き）
• BN-SDCLP3（SD/SDHC/SDXC/microSD/microSDHC カード用）
• BN-SDCKP3（SD/SDHC/microSD カード用）
● PC カードアダプター（著作権保護機能付き）
• BN-SDDBP3（SD/SDHC メモリーカード用）
• BN-SDMAAP3（SD/miniSD カード用）
• BN-SDAGP3（SD メモリーカード用）
■ イッキ録りした SD オーディオのタイトルを、パソコン上で取得 / 保存するソフト
• SD Title Editor（ダウンロード版）
（下記「パナセンス」でダウンロード購入が可能）
http://club.panasonic.jp/mall/sense/open/index.html
■ 外部機器とつなぐには
● オーディオコード（ステレオミニプラグ～ピンプラグ）
• RP-CAPM3G15（1.5 m）
● オーディオコード（ステレオミニプラグ～ステレオミニプラグ）
• RP-CAM3G15（1.5 m）

SD カードの音楽をパソコンで楽しむには

別売ソフトウェア「SD-Jukebox」を使うとパソコンで音楽データの保存 / 再生などができます。

必要なもの
● SD-Jukebox Ver.6 など
● セキュア（著作権保護機能）対応の SD カード挿入口を装備した Windows パソコン(パソコンが、SD 挿入口の付いていないものやセキュア対応でないものの場合はセキュア対応の USB リーダーライターも準備してください。)

お知らせ
• 曲のチェックアウト（パソコンから SD へ音楽データを書き込むこと）の回数には、制限がある場合があります。

さくいん

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した SD カードを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03) 3481-2121	中部支部	☎ (052) 583-7590
北海道支部	☎ (011) 221-5088	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
大宮支部	☎ (048) 643-5461	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
東京支部	☎ (03) 3562-4455	中国支部	☎ (082) 249-6362
西東京支部	☎ (03) 5321-9530	四国支部	☎ (087) 821-9191
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5321-9881	九州支部	☎ (092) 441-2285
横浜支部	☎ (045) 662-6551	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
静岡支部	☎ (054) 254-2621	那覇支部	☎ (098) 863-1228

MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.

SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
「Works with iPhone」とは、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Bluetooth® は、The Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスに基づき使用しております。

- 本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理! エンジョイポイントをためてプレゼントに応募!
アンケートにもご協力をお願い申し上げます。

http://club.panasonic.jp/

http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

保管

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

愛情点検 長年ご使用のコンパクトステレオシステムの点検を！

こんな症状はありませんか		ご使用中止	
	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音声が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体に変形や破損した部分がある ・その他の異常や故障がある		**故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）	販売店名	☎（　　）　–	品　番	SC-HC40
	お客様ご相談窓口	☎（　　）　–	お買い上げ日	年　月　日

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571 – 8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQTX1075-2S
H0110WM2040